京城日報

廿六日夕刊

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾五錢 六ヶ月金參圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 [illegible]

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城大和町一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

朝鮮罹災者に御下賜金

天皇皇后兩陛下には去六月中朝鮮總督府管內に於て暴風雨の被害少からざりし趣を聞し召され罹災者御救助として左の如く御下賜金ありたり

金四千八百圓

右の趣波多野宮相より寺內總督に傳達せり(東京特電)

匈牙利重大政變惹起

匈牙利に最も重大なる政變惹起しアポニー伯は辭職せり(紐育電報)

(別報)洪牙利に重要なる政事的分裂起り洪牙利敎務大臣アポンシン伯は議會に於て聯合政府より隱退すべき旨を言明せり(倫敦電報)

露軍再びムッシユ占領

外に獨軍一個聯隊を捕獲す

露都來電に曰く露軍は再びムッシユを占領し捕虜二千三百を獲たり又たモスル附近にて獨軍二箇聯隊を大砲機關銃と共に捕獲せり(倫敦電報)

支那人五千馬耳塞著

タイムス巴里特報に依れば佛國政府は軍需品工場に試驗的に支那人を雇傭するに決し人數五千の一部隊は馬耳塞に到着し始めたり(倫敦電報)

露軍靴新注文

露國政府より軍靴の新注文來れり(東京電報)

聯絡運輸規則改正

鐵道院にては二十五日告示を以て明治四十四年二月八日同院告示第七號日滿露聯絡運輸旅客及び手荷物賃率規則第一編賃率適用規則中第六條三ノ第二項急行料金差額表中イルクツクをマンジウリに改め九月一日より施行の旨公示さる(東京特電)

公友代議士會

公友倶樂部にては二十八日代議士會を開き三派合同の可否を討議し倶樂部の向背を決する事となれるが合同反對派優勢なり(東京電報)

首相の合同勸誘

大隈首相は今明兩日公友倶樂部所屬代議士を自邸に招き三派合同の勸誘をなす筈(東京電報)

期するか此點には袁軍參謀中にも種々の考案ある可ければ南軍が運河を渡りて以後の行動は我官憲も之れを保證するの限に非ざる可しと(承天)

各省聯盟と國會

陰謀組織強勁案提出か

張勳を首領とする十三省督軍攻守同盟、克定を中心とする河南の中原公司(表面は英國人の關係せる營利會社)果ては帝政派の亡命組等新政治に依らざる陰謀組は最近益々鋒芒を表はし來り彼等一味徒黨が議會內にも發生し此儘に捨て置かば意外の紛亂を惹き起す恐れあるより超然派等は軍人の政治に干渉するを禁止する建議案を提出し以て未然に防がんとする[illegible]なるが如し軍人政治干渉禁止案は二十一日の議會に提出されしも修正の必要ありとて撤回したり修正か補足か未だ知る可からず一方に於ては進歩國民兩黨の首領連が秘密に會合し陰謀組織強勁の下相談をなし軍人の政治干渉を禁止すると同時に[illegible]等の我儘組に鐵槌を下さんが爲め陰謀組織強勁案を議會に提出するに衆議一致せるが如し本案は帝政派議員除名案と共に中外の注目を惹きつゝあり(北京)

支蒙軍妥協(後報)

今後蒙軍の行動如何

郭家店に四里程を隔てゝ相對峙し我守備隊長の命令にて休戰の儘なる支蒙兩軍は奉天省軍事顧問菊地中佐の交渉斡旋にて大要左の條件の下に愈々休戰の妥協成立したり

(一)蒙軍は休戰決定日より十日以內に西方へ退卻する事

(二)蒙軍は退卻に必要なる糧食其他の補給を受くる事

(三)蒙軍は退卻後各地に於て掠奪を行はざる事

(四)支那軍は追擊せざる事

猶菊地中佐は二十四日朝郭家店より歸奉し右條項に就きては張督軍も同意を與へ正式の休戰命令は同日支那軍に下りたる筈最も支蒙兩軍が果して此休戰條項を遵守す可きやは頗る疑問にして優勢を賴み蒙軍の必滅を期せる支軍が果して追擊を加へざるか、西退す可き蒙軍は今後何地に向ふ可きか內蒙古の本據に歸るべきか或る地點迄退卻して更に捲土重來な

密電を致す

九省秘密同盟會は更に十三省同盟となりたりとの報は痛く北京政府を懸惱せしめ政府は數日前某を馮國璋の許に密派して馮の此會に對する關係を詢ひ又張勳にも其實否を電問したる處張は一切無根なり近く辨白書を公開すべき旨を電覆したりと云ふが此報が世人の視聽を惹く事の甚大なると與に關係者と目さるゝ各省督軍等も心中甚だ不安を感じ江西李純湖北王占元の二督軍よりも其無實の旨を政府に特電したるが更に最近聯盟中の某々督軍數人は密電を政府に致し同盟の事は決して地方の分裂を主張し中央の命令を抗拒し或は中央政府に反對し地方の秩序を破壞するを目的とする者に非らず唯だ議會の專制及び民黨の橫暴に對して彈壓を加へんとする者にて固より大局統一の上に何等危害を加へんと欲する者に非らざれば政府は慨じて痛心するを用ひざる可き旨を聲明したる由にて該會の秘密存立を無根なりとは無根の僞證にて彼等の眞意が上記聲明の各項外に各自

地位の防禦に任ずる事は明白にて北京政府は却て彼等を南北互讓妥協の道具に利用するなる可しと(承天)

救恤金御下賜

六月中の水害罹災者へ

六月中に於ける鮮內慶南出水の趣き天聽に達するや　皇上　皇后陛下には廿六日罹災者救恤として金四千八百圓下賜の御沙汰あらせられたる旨同日正午總督府に電報ありたり總督府にては直に被害各道に打電して其旨を傳へ不日罹災民數並に其の程度に應じて之れを分配送達の筈なり

釜山學生獻金

釜山府管內商業學校、高等女學校、簡易商業學校、專修學校、各小學校及び普通學校生徒四千三百餘名は明治神宮奉贊の趣旨を體し敎職員と共に獻金二百四十五圓六十錢を此程愛國婦人會朝鮮本部に送附し獻金の手續を依賴し來れり

端數計算と朝鮮

公共團體の收入及び仕拂に關し國庫出納金端數計算法準用の件は勅令を以て公布せられ九月一日より施行のことゝなれるは既報の通りなるが朝鮮に於ては之を準備す可き公共團體は地方費、府、學校組合及び水利組合と指定せられたり但し法令に依りて當然公共團體に歸屬する收入金、貸幣交換差金、外國貨幣を基礎とする收入金及び仕拂金、缺損補塡金は之を準備せざること內地と同樣なり

辭令

二十五日附を以て左の通り辭令ありたり

任朝鮮總督府鐵道局副參事 敍高等官六等五級俸下賜 朝鮮總督府鐵道局參事補 安藤堅次

任朝鮮總督府郡守 敍高等官八等十一級俸下賜(各通) 朝鮮總督府郡書記 金商翊 安昌善

全羅南道求禮郡在勤を命ず 金商翊

全羅南道麗水郡在勤を命ず 安昌善

全羅南道務安郡在勤を命ず 朝鮮總督府郡守 李思弼

全羅南道潭陽郡在勤を命ず 朝鮮總督府郡守 趙重觀

全羅南道海南郡在勤を命ず 朝鮮總督府郡守 柳翼亮

全羅南道靈巖郡在勤を命ず 朝鮮總督府郡守 李淵會

國分長官視察

平壤滯在中なる國分司法部長官は二十五日府廳に於て民籍事務を視察し警察署には警察事務を視察の上二十六日鎭南浦に向ふ

小原長官入京

忠淸南道長官小原新三氏は總督府に對する事務打合せの要務を帶び二十五日夜南大門驛著入京朝鮮ホテルに投宿せり氏は兩三日滯在の上歸任の筈なり

黒板博士動靜

文學博士黒板勝美氏は二十五日平壤著旅館柳屋に投宿二十六日鎭南浦に向ひ龍岡郡盤栗に六日間安州郡及び邊に六日間大同郡大同江西十餘ヶ所に五日間滯在し古蹟の調査に從事すべしと

米製鋼王入京

米國製鋼會社長ギャリー氏夫妻は秘書を隨へ二十五日午後七時五十分南大門驛著汽車にて入京朝鮮ホテルに投宿せり二十六日は午前小松參與官其他の訪問を受け市中を見物せる上午後五時より銀行業者官民有志等の招待にかゝる慶會樓茶話會に臨み妓生の舞踊を觀覽したり、一行は二十七日朝南大門驛發汽車に搭乘內地に向ふ筈なり

中村滿鐵總裁一行入京 中村滿鐵總裁一行四名は廿五日夜安東より入京朝鮮ホテルに投宿せり

今回名古屋憲兵隊より京畿道楊州憲兵分隊長に赴任を命ぜられたる陸軍憲兵中尉瀨野秀吉氏は二十五日夜入京淸光館に投宿又宮崎縣都城憲兵分隊長より海州憲兵分隊長に轉任を命ぜられたる藤井憲兵中尉は同夜入京淸光館に投宿廿六日午前何れも警務總監部に古海總長を訪問着任挨拶を爲せり因に兩中尉は廿七日出發赴任すと

紳士的折衝

鮮人商議對韓一銀行問題の解決

舊朝鮮人側商業會議所は嚢に發布されたる商業會議所令の施行と同時に當然解散さる可きものなるに拘らず韓一銀行に對する債務關係よりして其手續を履行する能はず韓一銀行は會頭白完爀氏を相手として訴訟を提起し久しく紛糾中にありたるが右は去る明治四十二年以來商業會議所の公共費用に支出せられ金額使途明瞭なるに拘はらず一方は貴族を頭取に戴ける銀行と一方は多數知名の實業家とが法廷に於て理非の解決を求めんとするは不名譽なるのみならず

▲一般實業家に累を及ぼすの憂ありとし當局官憲並に裁判所に於ても特に本件は訴訟として裁決を爲さず適當の方法に依り和解せしむるを妥當なりと認められ結局現京城商業會議所會頭原田金之祐氏に依賴して調停せしむるを可とするに一致したるも時恰かも同氏の東上中なりしを以て大村同會議所書記長は先づ地方法院に本件係の福田判事を訪ひ本件に對する意見を確め一方韓一銀行に就きて和解の意見を採りたるに擔保土地家屋の外に現金約六千圓の支拂を要求し而して會議所側は擔保土地家屋の提供のみに止めんとするにありたるを以て原田會頭の歸京を俟つて調停を開始するに決したり越て六月二十三日原田氏の歸京と共に當局官憲よりも正式に調停を囑せられたるを以て直ちに

▲双方の間に立つて齊旋の勞を執らんとし先づ韓一銀行に調停に應ず可きやを諮りたるに同行の閔泳徽氏は既に訴訟を提起せることなれば其結果を判決に求む可く調停の必要更になしと主張し極めて頑固の態度を示せるも其後終に反省する所ありて調停者の熱心と誠意の存する所に感服し爾來數回の交渉を重ねたるが白完爀氏側より申出たる條件は悉く閔氏の容るゝ所とならざりしを以て最後に原田會頭は擔保土地家屋の外に現金三千二百圓を辨償する

▲公平なる解決法 と認むる旨を提案し双方の懸隔を求め之れを以つて本件の調停を打切る事を辭明せるに白完爀氏側は快よく之に應じたるも銀行側は一應困難の模樣を表示せしも遂に貴族の地位を持し相當の人格を具有する諸氏のことゝて結局原田會頭の調停案を認容することとなり本月二十四日双方會合の上一切の手續を終り久しく紛糾を續けし事件も茲に圓滿なる解決を見るに至りたりと

鄭家屯事件と支那意嚮

支那官憲側は鄭家屯事件に關し日支兵の衝突により双方死傷者を出したる事なれば相互に損害を負擔すべきものなりとの意嚮を洩せり(北京電報)

段總理政綱發表期

段總理は總理特任追認案國務員追認案の衆議院を通過するを俟つて其政綱を發表すべし(北京電報)

支蒙軍戰鬪再開か

菊池中佐の斡旋に依り一旦停戰を餘儀無くされたる支蒙兩軍に又復戰鬪を再開す可き形勢ありと傳へらる(奉天電報)

東淸南半讓渡交渉未了

日露新協約附帶案件なる東淸鐵道南半讓渡問題は未だ兩國間の交渉未了なりと(東京電報)

靑島守備軍の獨立

從來靑島には姫路第十師團步兵第十第四十兩聯隊及び騎兵野砲兵各一個中隊より成る守備軍駐屯し軍事並に行政を司りしが今回全然行政を獨立して守備隊を設置する事となり更に二十四日守備隊司令官として森邦武少將の任命を見たるが猶同守備隊は內地の或る部隊と交替する事となれり(東京特電)

四鄭電話開通

四平街、鄭家屯間の我軍用電話は二十五日を以て開通せり(奉天電報)

財團監督研究

政府に於ては赤十字社愛國婦人會其他の財團法人監督方法に付研究中也(東京電報)

平壤

▲勸業課員出張 平安南道勸業課係岸本農業技手は農事指導のため二十六日龍岡郡及び江西郡へ向ふ五日間出張したり ▲校長任命 平壤公立尋常小學校訓導林新兵衛氏は八月二十三日附を以て江西郡飯山公立普通學校長に任命せられたり

開城

▲參業組合總會 開城參業組合にては本月三十日定期總會開會の筈なり ▲前書記長出發 開城參業組合書記長なりし小路傳三郎氏は過日其職を辭し去る四日鄕里福岡縣に向け歸途に就きたるが見送人多數なりき尚後任者は全北の某金融組合理事に內定し居るも未だ着任せず

仁川

▲客月米穀移出額 仁川港に於ける七月中の米穀輸移出額は二十一萬三千四百三十五圓にして前月より稍增加を示せるも前年同月に比するときは七萬餘圓の減額なり這は正米界阪地市場に比し割高なる爲め不引合移出に殆んど見るべきものなく僅に滿洲靑島方面への輸出が少々のみなりしに由れり ▲砂糖移入增加 仁川港七月中の本品輸移入額は五萬六百七十五圓

淸州

▲淸州署井水檢査 淸州警察署にては市內百六十餘所の井戶水檢査をなし飮料に不適水は今後嚴重取締をなし絶體に飮用を禁止することゝし廿五日より淸州憲兵隊附內山軍醫之が主任として細密なる分析檢査に着手したり ▲淸州署員の射擊會 淸州警察署にては廿五日早朝より署長以下署員の實彈射擊會を市の北郊外なる分隊射擊場に於て擧行し正午終了したるが比較的好成績なりしと ▲小田中尉着任 今回淸州憲兵隊鎭川分隊長に新任の憲兵中尉小田金平氏は大阪憲兵隊副官より轉じて去る二十二日同地に着任同二十三日同地民一同は氏のため盛大なる歡迎會を催したり ▲古河原視學歸任 過般來忠北敎員夏季講習會講義の爲め來淸中なりし古河原總督府視學は二十四日淸州發歸任したり ▲淸南橋竣設 過般の大出水に流失の危險に會ひたる淸州南端無心川に架せる淸南橋は其後假設工事を取急ぎつゝありしが漸く此程架設落成を見二十日より車馬の交通自在となりために暫く杜絶の姿にありし淸州芙江間の交通も復舊し從前に增す旅客貨物の交通を觀るに至れり

大田

▲酒類販賣者 酒税令發布に據る酒類販賣業者數は釀造家二戸を合せ三十餘戸あり以上は內地人のみにて鮮人は持越しをなすもの若無の狀況なれば課税するも十月頃にあらざれば判然せざるべしと ▲棉作狀況 立秋より處暑に至り稍順調を得昨今に至り豫想外の恢復を見るに至れり現狀にて進む時は昨年以上の好果を收め得べし即ち結顆を見るに上三、〇中一、五下一、〇の平均を見たり又棉實を各自保存せしむる目的を以て繰棉をなさしめ居れるが本年も大田市內に繰棉機三臺を備へ各自に使用せしむる筈なり ▲西瓜品評 大田西瓜は從來品質良好なる爲め每年各地に向け輸出する例なるに本年は降雨の爲め成果充分ならず賣出し以來市內にて相應に賣れ行きある爲め釜山及び湖南沿線より注文あるも出荷出來難く隨て品薄を呼び居たるも聞く所に據れば一千貫內外はあるべしと現今畑賣貫十三四錢小賣貫十六七錢なりと ▲會報發刊 大田實業協會にては創立當時より懸案なりし同會々報を每月廿五日發刊日とし本月より發刊したるが內容充實せる會報なり

光州

▲光州電燈問題 光州電燈創立は一昨年不振の爲め一先づ却下となりたる光州電燈會社發起人と今回來光中なる小倉光州電燈會社長と會見善後策を協議すると共に光州側發起人を完備して再び提出するに至るべく今度は多分認可指令に接すべしと思料さる ▲棉花減收 雨の爲め發育を妨げられたる本年全南の棉花は八月一日より天候恢復の爲め些か作柄を盛り返したるの觀あるも何分長き霖雨に浸り居たる上粘土の耕地等は排水惡しき爲め依然濕り氣多く爲めに除草等も不足勝ちなれば自然發育の上に關係し目下の狀況にて昨年よりは平作以下の見込みにて耕地を增加せるに不拘減收を見るは誠に遺憾に堪へずと道當局者は語れり ▲浮塵子發生驅除 谷城郡に浮塵子發生し漸次被害多大に上るより郡廳にては警察署と協力し農民を指導獎勵し極力之が驅除を行ひたる結果遂に絶滅せしむるに至りたり又[illegible]津、靈岩二郡にも發生し目下驅除勵行中なり ▲黒崎參事官來光 制度調査の爲め法制局參事官黒崎眞三氏は二十五日木浦發榮山浦羅州を經て入光廿六日滯在廿七日朝大田方面へ向ふよし

釜山

▲輕鐵總會と第一期工事 朝鮮輕便鐵道會社第一回株主總會に於て可決せる定款追加變更の件は廿五日釜山地方法院に登記申請せり又た第一期線工事に布設すべき軌道は過日技光製鐵所に注文なしたるが右注文の細目打合せの爲め經理部長有田寛治郎氏は二十日連絡船にて出張の筈 ▲繁榮會例會 釜山繁榮會例會は廿五日午後七時より鳴戸本店に於て開會せるが出席者廿八名にして釜山繁榮に關する有益なる講話あり午後九時解散 ▲東萊浴場新設 朝鮮瓦斯電氣會社新經營なる東萊溫泉場に於ける浴場新設工事は其後基礎工事は略竣成せるを以て廿七日頃より浴槽築造に着手すべしと

大邱

▲大邱郵便局竣工期 目下新築工事中なる大邱郵便局は九月上旬上棟式を擧ぐる運びに至り十二月中旬竣工期日なるも工事大に進捗し遲くも十一月中には完成するに至るべしと ▲共同井戶增設 慶北道にては本年度各地に於て共同井戶十八箇所を增設すべく廿五日警務部と打合をなせり因みに慶北道廳は是が爲め地方費中より一千八百餘圓の補助をなす筈

人事消息

▲上原直藏氏(鐵道院技師) 廿六日朝京城通過來天へ
▲萩田悅三氏([illegible]課長) 統計事務視察の爲め[illegible]川に出張せし同氏は二十五日夜歸任したり
▲中村明氏(三菱社員) 入京中の處二十六日朝退京
▲寺島才次郎氏([illegible]署長) 廿五日釜山より歸任
▲アンダーソン氏(支那顧問) 同日一行十四名上陸北行

●蒙軍の謀士悲憤の極死を決す

慘澹たる敗軍の實況を觀る

二十日の蒙支軍衝突―旗色惡るき蒙軍―夥しき避難者―蒙軍退卻―我守備隊の前進阻止―鄭家屯店方面の盛んなる銃聲

二十日戰爭に起きたる同業者より同日夕刻我守備隊より蒙支兩軍に交戰區域の變更を傳へたる筈なれば多分本日は休戰の上陣地の變更を爲すなる可し好し交戰するも午後の頃なるべしと聞きたる余は昨夜より多數の人が見物に出發するのを知りながら天晴消息通顔して落付拂ひ今朝出發する事となしたり朝七時發の汽車に搭ずれば已に

◎沿線砲聲殷々

たるを聞き偵公主嶺に達して蒙軍の旗色頗る惡しく退却したるが如きを聞く驚いて蔡家屯驛に達すれば避難民の同驛附近に一家族を荷馬車に乘せて來る者陸續絕えざるを見る同驛を過ぎて少しく南方に距れば線路の右側の林間又は河原に蒙古軍の退却し來る者此處に一群彼處に一團ありて之れに倍する赤白の馬及び駱駝等ありて退却の狀歷々たり同車中の人覺えず嗟嘆の聲を發す鄭家店に下車すれば戰鬪は終了せりと聞きしも倘時々小銃の聲あり之れを人に糺せば大部分の蒙軍は退却せしも將軍八寶加卜猶踏止まり鄭家店を維持するなりと兎も角とて一同驛後の高丘に進む途中に蒙軍の一參謀に遭ふ之れを擁して今朝の戰狀敗軍の理由を問ひたるに彼れは精神昂奮多く云ふ能はず唯云ふ我等は日本守備隊の命に從ひ昨日占領したる有利なる地點を悉く放棄し休戰し居たるに今朝支軍俄かに襲ひたる爲め

◎不意を喰ひて

如此失敗を來せりと無念の情言外に溢る吾人亦多く聞くに忍びず袂を分かちて鄭家店に通ずる街路に至れば我守備兵ありて前進を阻止し行く能はず轉じて赤十字治療所を訪へば負傷兵七十餘名收容され醫員看護婦繁忙を極むを以て昨今兩日の戰鬪如何に烈しかりしかを知るに足る斯くて一度驛前に引返し來たるに又鄭家店方面に當りて銃聲旺んに起るを聽き二三人の同行者と共に守備隊北方の高地に至りたるに恰も好し胸壁の穿ちありたるを見附け此處に潜みて觀戰するに支軍は三方より八寶加卜將軍の固守せる本陣を包圍し漸次切迫し來れる者にして彼等は休戰の命を奉せず盛んに發砲をなし我守備隊より之れを聞きて打方止めの喇叭を吹けば發射を止め直に前進を始め蒙軍之れを見止むを得ず射擊すれば又盛んに攻擊を加ふ其銃聲盛んなるに至りて守備隊又打方止めの喇叭の合圖をなせば又復發射を止め躍然として前進す此の如くする事數次

◎蒙軍遂に耐す

家屋二三箇所に放火し隊を整へて退却し官軍奮郭家店を占領す時に午後零時三十分頃之れ果して誰の罪ぞ此れ同地に集りたる觀戰者數百人一として蒙軍に同情を表せざる者なく慷慨悲憤する者多きに比し退却したる蒙軍は案外平氣なり併し乍ら八將軍始め其幹部連中の心中を察すれば私に一掬の涙なき能はず現に幹部中の一二人は退却後死を決して遺書を認め後事を友人に托し其責任を負ひ身を以て膺り某事を決行せんとしたるも友人に諫止せられたるやに聞く是又無理からぬ事なり斯くて二時頃に公主嶺より守備兵五十名許り到着し同四時頃に至り漸く日本國旗を先頭に立てたる軍使は兵一小隊許りに護衛せられて

◎支那兵の各陣

を巡行し彼等に二里以外の地に退却すべく命じたるが夕刻に至り漸次實行しつゝありたるが如し去れど支軍は確實に蒙軍を一方より包圍したれば今後蒙軍の行動は非常に困難たるを免る可らざるなり（長春にて伊月生）

●汽車中に虎疫發生

昨廿五日下關驛着列車乘客中に虎列拉病患者一名發見せられ同汽車及乘客乘組員全部同驛に五日間抑留消毒する事を命せられたり尚昨日名古屋驛にても虎疫患者一名發見せり

▲熊本にも虎疫

二十六日熊本縣天草郡に七名飽託郡に一名の虎列拉病新患者を發生せり（門司特電）

●虎疫發令

警務部防疫方針

昨今內地にては虎疫猖獗なるの折柄とて朝鮮に於ても大に豫防に努め居れるが京城にても警戒豫防方策として此際吐瀉の病氣に罹りたる者は患家及び主治醫より洩なく其旨官憲に申告する樣近く警務部令を以て發布すべしと

●天候險惡

海上尙警戒を要す

仁川觀測所の觀測に依れば二十四日九州西方海上に現はれたる颱風は從來の進路を取り殆んど西方に進行し二十六日朝上海及び青島の中間附近に至り漸次衰退しつゝあるを以て朝鮮海峽に風波を起し南岸に降雨を催したる外は豫想の如く影響の甚だしきものあらざりしは偶然の幸なりしが引續き石垣島の南方より進來せる他の颱風は二十六日朝支那東海中部に達し尙北進し二十七日朝は黃海に入進せんとする情勢なるが二十六日夜より二十七日に亙り大概ね天候不良なるべきも今回の颱風は示度深濃ならざるを以て陸上に風水害を齎らす程の事なからんも海上は警戒を要すべしと云ふ

●檢事控訴

岡田の無罪に就き

京釜線大談合事件は二十三日大邱地方法院に於て夫れ〳〵判決言渡しありたるは既報の如くなるが野田立合檢事は大倉組岡田金之助に對する無罪判決言渡しを不當として二十五日附を以て遂に控訴せり

●少女と事務長

航行中の怪事

大阪宇和島間定期航路第十五宇和島丸は曩に某船長を出して當業者の物議を招きたるが今復同船の事務長武原重吉（四十）は同船が去る二十日大阪を發し神戶港經由宇和島に向け航行の際同夜十一時頃大阪より宇和島迄の三等船客某女（十五）と云へる一人旅の娘らしき少女姿を見染め親切ごかしに事務室に押込め遂に之を辱かしめたるより同女は宇和島著と共に同地警察署に告訴を爲したり（宇和島特電）

●週番中尉袋叩き

大津步兵第九聯隊第三中隊附中尉久野幹氏は去十三日週番同隊の下士の素行を巡視せる際何かの行違ひより一人の下士が中尉を毆り付けしに之れと同時に同隊全部の下士が刎ね起きて中尉を袋叩きにしたる椿事あり中尉は下士の仕打を酒氣を帶びたるものとして口にも出さず之を表沙汰にする時は己れの面目にも關すべしと多少の負傷を忍びつゝ祕密に附しつゝあるも之れには種々事情秘み居れるが如し（大阪特電）

●二千斤の氷箱に挾つて重傷

仁川署の石巡査が二十六日午前三時入港の汽船漳州丸に臨檢の際同船賄夫和歌山縣日高郡北井崎村生れの米倉由松（四）が胸部に重傷を負ひ病床に臥しゐるとの報告を受け其原因を取調ぶるに本船が去る二十三日門司を出帆し釜山に旅行中二十四日午後二時頃風浪の爲め船體の動搖激しき折柄前記米倉が右舷上甲板より厨房に入らんとする刹那船體傾斜の爲め入口側に置きありたる重量二千斤の氷箱が倒れ懸りて腎部を厨房の戶板に强か挾まれ腎骨を挫折する程の重傷を受け全く步行不能の旨申立てたるが同日仁川病院に入院せしめたるが生命には別條なき由なり（仁川）

●鋼鐵王の贅澤振り

一食八圓―朝鮮ホテルがお氣に入つた

流石黃金國たる合衆國の鋼鐵トラストを背負つて立ち鋼鐵王の名で呼ばれるギアリー氏夫妻の旅行とあつて萬事

◇善盡し美を極め

上海に上陸して鐵路北上北京に赴き南下して渡日する迄各鐵道に對して總て特別貸切列車を聯結せしめボーイ、コツクも特別なら食事材料なども其地方々で集められる限りの最上等品を準備させると云ふ王侯以上の豪奢を極めた旅行である何でも安東から釜山迄の汽車賃寢臺料金急行座席券一切を合て六百六十八圓八十二錢を鐵道局に仕拂つた位だ相だ。さうしたギアリ

◇贅澤な旅行でも

ー氏は流石に寄る年波かリウマチスの惱みに堪へかね廿五日夜入京すると同時に疲れ切つた軀を直ぐに寢臺に投げて「一切面會謝絕」と御機嫌頗るよろしからざるものがあつたがホテルの最上貴賓室を夫妻各々二部屋宛占領して二十六日朝は悠つくり疲勞を休めたが非常に元氣附き京城で此豫想外に立派なホテルに宿り疲勞を醫す事の出來たのは此旅行中特に感謝すべき事である」と

◇お世辭を振撒き

傍ら廿六日の午前中は手紙など書いて時間を過し午後は自動車を驅つて昌德宮景福宮の見物をなし慶會樓に於ける銀行業者、官民有志聯合の茶話會に臨み欣然として歸宿し「此の非常に氣持のいゝホテルで倘一日悠つくり休息したいものだ」と二十七日朝出發の豫定を一日延期しやうと種々計畫中である。何しろ到る處で料理なぞ其土地で集め得る限りに於ての最上の材料を以て

◇出來得る限りの待遇

しろと云ふので朝鮮ホテルでも苦心して調理して出したが何でも一食一人前八圓許りに當ると云ふ因にギアリー氏は年齒六十二三、夫人は五十七八とも見ゆ上海から下關迄臨時雇ひとしたサイツ氏に旅行に就いての萬事の世話をさせ外に侍女と小者を携へてゐる

●臨津江を泳ぎ渡らんとして溺死

所持品は京城日報＝中學卒業證書

京畿道坡州郡と長湍郡との境界を流るゝ臨津江の鐵道鐵橋上を本月十八日午後二時頃通り蒐らんとしたる一青年あるを橋番人藤井市太郎が發見し間もなく列車の通行時間なるより

▲通行を禁止

したれば件の青年は直ちに引返して橋下に到り著衣を脫ぎて水泳中間もなく大聲に救ひを求むる聲を聽きつけたる藤井は外三名の鮮人と共に河岸に驅けつけたるも既に同人の姿見えざるより更に傭馬船を以て隈なく搜索せしも手掛りなく一方急報に接し長湍憲兵分遣所よりも憲兵出張し十五名許りの人夫と共に翌十九日も終日

▲屍體の搜索

をなしたるも遂に發見するに至らず遺物に就き取調べしに履歷書一通及電報一通、京城日報一枚を所持し居り尙香川縣立大川中學校長より交付したる中學卒業證書を所持せるもの及履歷書記載の本籍氏名に依り死者は多分香川縣大川郡白鳥本町松原百八番地森本寅二（三）なるもの如く又電報の記名には佐々倉天吉とあり何れ兩人の內なるべき見込を以て目下同憲兵所より本籍地へ照會中なりと

●花月のおそのが百合子を追うて

釜山驛前で取捕へた―これには込み入つた事情がありさう

二十四日午後釜山警察署へ京城南山町三丁目二十七番地なる山本そのゝ養女すが（一八）が實父の塚田清太と共に逃走したれば取押方賴むとの電報を前記養母なる山本そのより打電ありし來りたるを以て警察署にては釜山驛前山本

◆旅館に投宿

せるを取調べ直に返電せしを以て山本そのは廿五日午前著にて來釜せりとの事なるが前記すがは前記養母山本その事花月の內そのが養母として幼少より貰ひ受け一昨年四月頃大阪より連れ來り百

◆披露目せる

合子なる藝名にて花月より披露目せるものにて可なりの賣ツ妓として知られたるが何か事情にて同年十一月廢業しその後の京城券番の抱ねとなり昨年すぎ月頭に至りて京城住の鑛山師澤井某と關係を生じ

◆樽家を出で

たるものにて南山町に一家を持ち居りしが如何なる事情のありしものか百合子の實父塚田清太は四五日前國許より京城に來り二十四日午前突然すがを連れ出し歸國の

◆途中を足止

されしものにて目下その塚田との間に百合子引戾しの交涉中なるが聞く所に依れば塚田は百合子を幼少の頃そのに養子せしめたるも昨今に至り俄かに惜しくなりたるものなりとも言ひ又塚田は年頃となり居れる

◆百合子を喰

物にせん魂膽なりとも言ひその他種々込み入つた事情あるもの如く尙その百合子の情夫なる澤井某の店員小川某は塚田の打電により來釜せり（釜山）

●朝鮮人に惡事を敎へる女

土地の二重賣

仁川支廳に於て詐欺罪として豫審中なりし福岡縣門司市生れ當時江華島居住無職高橋たか（三）は仁川府花斗里勞働者張富順（三）の兩名に對する被告事件は此程終結有罪と決定し同廳の公判に附せられたり今其罪狀を聞くに前記張は去る明治四十五年四月頃其所有に係る江華郡仙源面神井里所在垈七十二坪及び同地上建設の家屋を代金百六十圓にて同郡府內面官廳里中西鶴太郎に賣渡し代金は數回に受領し其土地家屋全部は買主に引渡し何等の權利を有せざるに拘らず賣買の登記又は登記の手續を履行しあらざるを奇貨とし前記高橋たかの敎唆に因り兩名共謀し本年六月中旬被告張に所有權ある旨を申欺き仁川府港町高橋勝之及び同府仲町國光喜一郎の兩名に之が買取り方を交涉し代金五十圓にて賣買を爲すべき契約を爲し同年七月十二日國光喜一郎より代金內金の名義の下に金五圓を騙取したるものなり（仁川）

●虎疫愈々帝都を冒す

淺草深川に發生罹病者忽ち死亡

內地の虎列拉病は其後各地に蔓延したるが遂に東京にも患者發生し淺草區吉野町五十一番地隅田川驛貨物人夫戶張虎吉（三七）は二十四日發病同日死亡し糞便檢査の結果疑似虎列拉と判明又深川區富川町鰻川河岸に繫留中の內國通運會社所有船第二通運丸の火夫飯重壹次郎（三二）も二十四日發病二十五日朝死亡したるより檢診の結果疑似虎列拉と確定し共に大消毒を行ひ目下系統に就き取り調べ中なり（東京特電）

●離婚を種に詐欺

仁川府花平里金俊植妻姓女（三）は此程同里金聖在の妻晋姓女（二六）が夫を嫌ひ離婚を望み居る由を聞知し同女に向ひ自分は內地人巡査に懇意の者あれば少し運動すれば容易に離婚し得べしと欺き運動費名義の下に金四圓を詐取したる事發覺して檢擧されたり

●朝鮮風俗寫眞

撮影班一行入京

朝鮮風俗の活動寫眞撮影の目的を有せる米人ミレット氏一行は二十五日釜山上陸二十六日夜入京の豫定なり

●飛降の腦震盪

京城蛤洞居住學生李鎭緖（一九）は二十四日午前十一時頃京城電氣會社の六十九號電車が西大門外若松倉前を進行中車掌の隙を見て飛降りをなし大地にて後頭部を强打し腦震盪を起して人事不省に陷りたる騷ぎに鍾路署交番の巡査驅付け總督府醫院に入院せしめ應急手當を施したる上目下加療中なるが治療二週間以上を要すべく頗る重症なりと

讀者文藝（一等には五十錢の賞金を呈す）

川柳　題（三味線）

○三味線の糸がからんで醉かれず　（一等）忠清北道堤川　櫻井緋鯉

△三味線に乘らる旦那の醉自慢　京城　紫流

△三味線を止めて暫時飯を炊き　京城　未曉

△三味が漏れる樣に門を出で　釜山　鶴人

△三味線の糸につられて二日醉　龍山　小草子

△玉山の鬧ろ、時分三を下げ　京城　采女

■課題及規定は欄外にあり

●檢疫停留者氏名　二十五

二十五日午前入港すべきさくら丸は同日午後二時入港二等客……

十二報　▲通行方向　北　▲記事　東の風强し▲警戒區域　全羅南北道慶尚南道の沿岸

■讀者文藝課題及募集規程

■募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に必ず氏名明記の事▲賞は……

天氣　東又は北の風　曇一時晴　▲八月廿七日

〈演藝案內〉

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店　ミカド商會　黃金館　電話一八五二（階上）二六三七（階下）

○八月二十四日より特別大興行　○新派大悲劇「松葉時雨」全三卷　○大冒險大活劇「名金」第十三編（最終）……　○義士傳……

大好評大入　大正館　▼義士劇第五編義士外傳　天野屋利兵衞　三卷　○新派悲劇　鳥の娘

御成座　武町　電話一一九一　革新派中村榮一行　第七十一回替番題　一番目　悲劇　みなし兒　全七場　二番目　喜劇　狐の恩返し　全三場

壽座　京城壽町　電話五七八番　新派和合俱樂部一行　八月二十六日（五日目）狂言　一番題　生さぬ仲　柳川春葉氏作　後編

土曜日曜に皆さんのお樂しみには人氣沸る斗りの黃金館へ　◎館が綺麗で涼しくて世界一の西洋寫眞「名金」が見られて朝鮮では、未だ何處でも見られぬ新派「松葉時雨」では連鎖劇が見られ「浪花節」では日本一の奈良丸の高弟奈良勝の長口演で義士劇を見たり聞かれます

日本活動株式會社京畿代理店　櫻井町　大正館　電話八七三　八月廿五日より特別大寫眞提供　○新派大悲劇「島の娘」全三卷四十四場　○軍事大活劇「死守」全二卷最大長尺　○義士外傳「天野屋利兵衞」全三卷

內科　小兒科　花柳病科　眼科　山田醫院　本町二丁目四十五　電話二八八〇番　呼吸器病專門　山田萬作　胃腸病專門　尾形周太郎　（入院隨時）

諸病治療　はり術專門　日影三子　きう　アンマ專門　伊藤シン子　京城旭町三　電話二〇七七番

電話增設百〇五番　大暑の砌益々御隆盛奉大賀候小店儀御蔭を以て日に增し隆盛に趣き候事偏に御各位樣の御愛顧の賜ものと奉深謝候尙今後は一層勉勵の上御厚意に酬ひ度就ては從來の店舖にては狹隘にて兎ても御注文に應じ切れず候に付今回岡崎町練兵場前に廣大なる敷地を買求め目下工場新築中に付落成の上は完全なる工場の設備と老練なる職工を以て專心鑛山用諸機械及工具排水灌漑喞筒を專門製作可仕候間不相變御引立の程奉希上候　鑛山用諸機械工具　排水灌漑各喞筒　直輸入製作販賣　京城南大門通五丁目　中根商會　電話長百〇四番　百〇五番

謹告　在鮮中は一方ならず御引立を蒙り忝く厚く御禮申上候尙出立の節は御多忙中態々御見送りを辱し難有奉存候何れ著阪御挨拶可申上候へ共不取敢以紙上御禮申上候　頓首　八月廿五日　鑓喜一郎　同　たま

京城居住鑛業家トレムリ儀本月四日當地にて死去致候條朝鮮に於ける同氏の遺產及遺書整理に關しては郭山金鑛管理者ルイ、アントワン、ブレン氏を遺言執行者と選定致候に付此段貸借關係有之候各位に通告候也　京城西小門通四十一番地　トレムリ遺產整理部

漢湖農工銀行春川支店登記事項中變更　支店ヲ大正五年八月拾日忠淸南道燕岐郡鳥致院里貳百拾參番地ニ移轉シタリ　右大正五年八月十九日登記　京城地方法院春川支廳

商業登記公告　京城[illegible]株式會社取締役小林[illegible]及監査役稻崎宇助ハ大正五年八月拾五日辭任シタリ　右大正五年八月貳拾四日登記　商號新設　商號　京城商會、營業ノ種類　綿布及絲類直輸入販賣、營業所　京城府[illegible]町貳丁目百九拾九番地、商號使用者ノ氏名住所　京城府水標町八拾五番地[illegible]　合名會社設立　商號　[illegible]合名會社、本店　京城府本町參丁目七拾九番地、目的　船舶運送業、設立ノ年月日　大正五年[illegible]、社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格[illegible]　右大正五年八月貳拾五日登記　京城地方法院

◆四條派の畫家小野月僲氏は朝鮮の風物探勝の爲め目下寺町旭旅館に滞在中なるが氏は先に若林松翁先生を師として現今深田直城氏に學びつゝある人にして山水、花鳥等をよくし一般揮毫の需めに應ずる由（繪は月僲氏の人物畫なり）

色の黑くなるくすり

□久し振に獨逸の雜誌を見る『ユーゲント』の表紙を開けると『色黑くなる藥』とある、軍人の額だけ白くて頰から下が薄黑い顏を書いて下に『此の藥を用ふれば汝の頰以下は永く戰塲に在りし如く凛乎たる焦色となり英姿颯爽たるに至るべし、軍國婦人の尊敬を贏ち得んとする青年は速に之を用ひよ』とある、獨逸の軍人が如何に持てゐるかと之で解る、英國の既婚者徴兵猶豫問題と比較して失笑を禁じ得ない

□白館の夢と題するポンチ畫がある、米國大統領が驅されて花嫁さん—大統領は此間嫁さんを貰つた—から惱氣されてる處『ルシタニヤ、ルシタニヤ』と何時も寢言を仰やるがルシタニヤつて何處の女です』とやつてる

□米國は軍備が無い軍備の無い國から何度最後の通牒を受けても獨逸は平氣の平左である、ウキルソン君が如何に喇叭を鳴しくしても獨逸が潜航艇作戰を止める氣遣は無い、中立は中立侵害を排斥する實力あつて初めて主張するを得るものだとは獨逸學者の説である次に英國海軍卿の演説『英國は海上權を有し航海は安全である』といふ文句を諧解して英國の大商戰が潜航艇に擊沈せられ船員がボートに乘て逃てる處を畫いてある

□伯林畫報といふのを見ると有名なコーラー博士の『敵國に於ける交戰國の權利』と題する通俗講演が載せてある、要するに戰爭は國家と國家の戰爭であつて決して軍人と軍人の喧嘩で無い故に軍人が戰爭の目的の遂行の爲にした危害は民法や刑法の如く一個人に對する法律を適用する範圍に非ずして其の軍人の屬する國家に對して損害賠償を要求すべきものである、然るに先逹て無害な武裝なき商船を擊沈したわが獨逸潜航艇員を普通の刑法に照して海賊行爲として死刑に處した英國の裁判官は海賊以上の殺人鬼である、

□これと反對に白耳義に於ては獨逸人は事實上の主權を握つて居る、卽ち白耳義の主權者は空名を擁してる白耳義王に非ずしてカイザーである故に白耳義の住民が白耳義王に同情して獨逸に反抗するのは明に反逆罪であるから之を普通刑法に照して死刑に處した獨逸の裁判官は公明正大仁德海の如しだと論じてある、ゑらい勢である（工藤忠輔）

婦人界消息

△石塚忍子（農商工部長官夫人）先般來内地會津地方へ歸省中のところ本月末御歸京の筈

△鈴木すゞ子（土地調査局長夫人）廿三日朝の列車で東京へ歸省されました御歸京は九月末の豫定

神社とお寺と教會

○メソヂスト教會（南大門通）廿七日午前八時より禮拜説教あり萬岡牧師の『基督者の忠實』

○京城基督教會（南米倉町）廿七日午前十時より朝拜説教山本牧師の『基督者生活の信仰』午後八時半より夕拜説教山本牧師の『基督者生活の尺度』あり

○京城日本基督教會（長谷川町）廿七日午前九時より日曜學校、同十時より井口牧師の『信仰の凱歌』午後八時半より同牧師の『悪はしき故郷』あり

○龍山日本基督教會（漢江通り）日曜學校同十時朝拜説教『神は足らぬ哉』同午後八時半傳道説教『交友の道』市瀨牧師

○西本願寺（若草町）二十七日午前九時より日曜學校あり

○龍山西本願寺（元町二）二十六日午後八時より土曜講演あり

○東願寺（南山町）二十七日午前九時より少年教會あり同午後二時より婦人教會午後八時より日曜講演あり

○曹溪宗別院（若草町）二十七日午前九時より慈風會例會あり

○開教院（本町三）二十七日午前九時より日曜教會あり同午後八時より日曜説教あり何れも弘安師の講演なり

日本髷の大流行は涼しいから

ハイカラ髪は追々廢れて行く

◇冬は日本髷で夏は束髪と大抵之れまでの相場は極つてゐたものだが、今年は暑くなればなるほど逆行く女に日本髷が多い、何故かと訊れると、束髪よりも前髪や髱に傍目の立つてゐる日本髷の方が遙かに涼しいからだと云ふ

◇なるほど今の束髪では心などをコテ〳〵と入れずに手輕に結つてこそ涼しからうが心が入つては揉つて蒸苦しいに相違ない

◇普通前髪の心には十錢位の毛絡を使ふ、十錢の毛絡と云へば隨分の分量になるからあの澤山の物が何處へ入るのかと思へる程だが、捩て結ひ上げて見れば大して可笑しい程大きくもない

◇二三年前には女學生間に額の丈より高い前髪が大流行したが、其頃は毛髱を二十錢も三十錢も入れたものだ、然しこれでは餘り重いので色々工夫した後は前髪の裡へ挿み重れて糊紙で貼つて手で拵いたものを入れたが、それが爲め櫛で梳とパリ〳〵と變な音がした

◇ある令嬢などは、間違つて中身のある幾寸と知らずに結つた爲め、頭の熱で火事を起す位であつたと云ふ滑稽な話もある

◇此頃ではそれも廢つて、前髪は割合に低くなつて來たが、其反對に髷は馬鹿に大きくなつたやうである

◇丁度帽子でも冠つてゐるかと思ふ樣になつたので見るからに暑さうで、首筋にダラ〳〵と汗が流れて來る

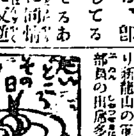
◇それでも何とかして涼しいようにと肝心の末になつたのが、女優髷と云ふ前髪を分けたものであるがこれは單に前髪の處が涼しいと云ふのみで髷の方は何の變化もない

◇こんなとから昨今の日本髷の流行となつて來た、實際に於て見ただけでもお嬢樣の銀杏返りのように見ねるハイカラよりは、桃割なんかの方が淑からしく見ねて好らしい感じがする、優柔など云ふことはどうもハイカラでは認められぬ併し自分に揺かれる點はハイカラ髷の方がよい

會のいろ〳〵

□禁酒演説會 廿七日午後八時半より旭町二丁目メソヂスト教會に於て三井榮長氏の『禁酒の勸め』あり

□井出中村兩氏送別會 廿七日午前十時より新龍山の軍人倶樂部に於て開催京城支部員の出席多數あるべしと



△ポテートインケース ジヤガ芋を水洗して蒸し焼きにして中身をほじり出して裏漉にかけ鍋に入れ牛乳とバタ鹽胡椒を加へて煉り玉子の白味を泡立てたるを加へまぜて前のじやが芋の皮につめストーブにて一寸焦き焼い内に供す（青木はつ）

番茶のあと

掲平郡江下面所在の京城塚崎由太郎氏所有萬命山金坑は△此の廿七日盛なる開坑式を擧げると同時に京城西本願寺の松原開教總長を招いて一大追悼會を擧行する△何故かといふと此の山はむかし唐の太祖の時支那から薛仁貴なる者が來て採鑛した朝鮮三大鑛山の一つで△今猶ほ三十七個の坑口を遺してあるが往年五百名の鑛夫が生埋めとなつた爲めであるといふ

商況

東京株式特電

二十六日 前場寄付 三〇九.三〇 大引 三〇九.〇〇
一〇七.〇〇 一〇七.七〇

銘柄	前場寄付	大引
東株	三〇九.三〇	三〇九.〇〇
同新	一〇七.〇〇	一〇七.七〇
東新第一	—	—
東新第二	—	—
日本郵船	—	—
同新	—	—
京城電氣	—	—
日本商船	—	—

債券現物特電（前日との比較）

[illegible]

公債直取引（前日との比較）

九七.七〇 九七.二〇

深川在米特電

	一七.七四
	一五.七三
	一六.三四
	五.一一

東京期米特電

廿六日前場 十月限 五七.七 五七.八 五七.一 五七.七 五七.一

大阪株式特電

銘柄	前場	後場
大阪株式	—	[illegible]
同新	—	[illegible]
大阪商船	—	[illegible]
阪神電鐵	—	[illegible]
日本綿花	—	[illegible]
東洋紡績	—	[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

廿六日前場

限月	寄付	引
八月限	四九.五〇	四九.九〇
九月限	五〇.〇〇	五一.三〇
十月限	五〇.四〇	五一.七〇
十一月限	五〇.四〇	五一.八〇
十二月限	五〇.〇〇	五一.九〇
一月限	五〇.八〇	四七.三〇

下關期米特電

廿六日前場 當限寄付 一四.六五 中限寄付 一五.〇二 先限寄付 一五.五五 め止

雜報

厄日近かし押目買旺盛 當限 中限 先限

綿糸立直る

（關門坂きの餘）二十三日前場に至り當限五十三圓臺迄持上げし三品の高値として昨後場遂に商調れの反動相場を演ぜしも先般を除き其の他は總て大引は受に一段

急激の立直り演じ

先限のみは獨り之に反して三圓の下落にて聊か寄異の感なきにしも元より内容不明なれば暫く疑問に付し後報を待つ事とせん

製粉の近況（大阪情報に日）

本月初旬より狂奔せる相場は遂に一時に比し五十錢を唱へたるが需用旺盛期に入るも何等好兆を呈せず内地小麥の増加による收穫增加は今の所沈靜せしめしが豫想に加へ、收穫高と大差なく今年も五十二萬石なりとの報ありて既に反し昨年より米國の不作と製粉需要が莱大手筋は米本國より買入れたるが如く注へたる上米價高騰に鑑み我製粉業者の輸出斷りて漸く買取りたるが輸出は増加せるもの如し

他一二大手筋に於て一萬石内外の賣買ありし樣子なるが三千萬袋の手合が千二百萬袋の契約に對して何等の影響を與ふべくもあらず今後益田好況を呈せざる限り思惑に因る斯鹽の反動は却つて激しかるべく前途警戒氣味にて弗々利喰ひ現はれ二圓四十錢臺にては買手なく底氣軟調に見受けらる唯だ買占派は別に見るべきつゝ先物を買煽り而して之が大手筋なる丈に一寸刃向ふ者なければ自然の商號も巧に行はれつゝあり今後果して如何なる波瀾を呈すべきか今は俄に豫知し難きものありき

●綿布の其後

綿布は其後大阪相場堅はらずと雖市場の人氣は々頑固を思はしむるものあり而して一面には久しく小口手合の外商談なかりし三巾金巾の如き當所來海女八九月物六圓九十五錢より七圓五錢別に弓矢六圓九十二錢五厘より七圓見當にて大手合行はれ而かも

印度方面の注文を握り

ての買出しなりと傳へ多少市場の注目を惹きつゝあるものゝ如し

●牛皮再び混沌

牛皮は露國軍需注文の契約成立を傳ふるや當業者は何れも競爭の準備を成しつゝ經過に當れる裡にも[illegible]

同契約の成立

[illegible]旨を報ぜり

大に疑惑

を生じ來りしも之か觀測に付ては區々意見を異にせる丈原皮市場も此處再び混沌の狀

結局契約の成立

[illegible]

立ちて自然見送

[illegible]

●昆布は産地持合

新昆布は北海道産地にて持合の狀なるが最近の小樽相場は左の如し 千四百圓棒太黑砂一等三千圓二等二千四百圓本斗砂付一等千九百五十圓

●精白又小弛む

精白は正米及び鮮白の不勢に遑れ依然安歩を脱せず地場相場は前場後更に十錢方下押し昨今にては十五錢を唱へられつゝあり

●生果類好勢

生果は天候の良好と共に其後の着荷順調なると共に可成り買氣を引立てつゝあり從つて氣配も概ね好勢を維持し矢張林檎上物の一圓五六十錢の出來なり

下關相場

▲朝鮮白米は不味 其後六十叺の着に過ぎずして別に賣り急ぎ物あらずと雖も既報の如く其後産地の人氣は面白からずと元來是迄割高にある爲依然買氣進まずして兎角賣れ行きの鈍滯なる爲め市況面白からず之れが爲め々の出來値は左の通りなり▲大豆は振はず 本品は其後本山産二百叺の廻着に過ぎざるのめならず依然産地の人氣安からずして不引合を衝に各手持筋の賣り急ぎがさるに依り市況振はず之れが非々の出來值は左の通りなり▲小豆は先づ保合 本品は巳報の如く産地より意外なる高値を傳へ今は頗る割安にある折柄とて自然手持筋の賣り急がざるに依り氣方惡しからず然れども餘り急激なる寄騰に連れ兎角高値は見送りの氣味へ自然賣れ行き捗々しからずして市況引立たず

△朝鮮一等白米	十五圓六十錢
△同（格用）	十五圓七十錢
△同	十五圓八十錢
△同二等白米（富用）	十五圓四十錢
△同	十五圓五十錢
△滿州薄背大豆	十一圓四十錢
△同	十一圓五十錢
△元山大豆極上	十四圓六十五錢
△新義州大豆	十四圓三十五錢

京城正米

市況は引續き閑散を呈し氣配は持合ながらも依然弱含みなり貫側は兎も角鮮國輸出米に付ては本國との契約關印及び各自の引受石數に對し何やら嘆きもありとかにて元來が先行き氣迷ひの際とて買人も一層氣乘りせざる模樣なり

南大門の廻穀

平壤小麥 六一叺　馬鈴小麥 二九叺
鎮南浦白 一九叺　新幕米 二二五叺

仁川現物市場

鳥致院玄米 四三叺　沙里院玄米 三九〇叺
金郊小麥 三〇叺　長湍玄米 一七叺

△玄米 入荷なし
△正米 入荷なし氣配は依然安人氣なるも賣急ぎ品なき爲折衝商談捗々敷からず
△小麥 入荷少なし氣配は强保合を唱へ居れり

確實・迅速 ㋮ 廣澤正太郎
仁川海岸町 取引所仲買人
（定期米並當業者案内 御一報次第進呈）
電話 六五番 一六〇番 三二〇番

釜山市場 廿五日

▲正米（弱保合）當地期米は雨天なれども大阪は晴天にて後場引緩み下押しの勢にて本日寄付は先き四十九錢と見て前場へたる白米節も一層先き安た氣配に買ひ進まず買人も賣り急ぎ一層の模樣なれども何等買人なき販商談もなく氣配軟弱の商談ありたり▲大豆 一寸賣り物現出せしも思惑の買人もなく氣配軟弱一二十錢安にて百四十四叺の商談ありたり

玄米	六三一個
粉米玄	三四個
大豆	三〇五個
合計	九百七十個

生魚市場

タイ一七、サワラ一〇、スズキ一〇、ハモ七、ニベ六、イセエビ二〇、クルマエビ三〇、メバル九、タコ八、コノシロ六、ボラ六、アワセ一二

週來潮々多く氣配も前日に比し安價なり

仁川期米

▲二十六日前場 大阪天候晴

前場寄十五圓六十錢と前日より五錢高の十五圓五十錢にて

人電二節同事の移り

て常地當中限の米不申先十五圓五十錢と弱き[illegible]

安移り 大阪九節五十錢

▲二十六日前場 當限中限先限 ①十五圓五十三錢 ②五十五錢 ③五十四錢 ④五十三錢 ⑤五十二錢 ⑥五十錢二錢一錢

市場一零聞

▲保合小鈍し

昨引後警報出て風强かるべしとの各道を警戒したり今前場大阪の上寄を報じたるも存外寄付前の三圓五十五錢と寄付六錢と隣けて商内保合居りたるが大阪小安き移りに㊁其他より賣物現はれ全て一錢より買向ひたるも一錢と下げたり市況は此處月末に際して關係る上市場は前日の大勢にて

▲内行引際多少商

頗ふる閑散であつたが小鈍き感があつた後の成行如何

仁川米豆取引所仲買人 ㊐ 仲買店
支配人 土居 勝
電話二八二番 二八三番

▲前場の手振り

本日前場の手振りは賣方㊀三千餘石㊂二千餘石④各千餘石等に對し全二千餘石④㊂各千餘石等にて市場を[illegible]

▲更に動かず

今前場は變動の模樣なく此處月末に際したり

▲手仕舞

の外なく近年の閑散であつた新ろ成行にて相場は更に動かず依然保合を脱出せず手仕舞商内にて小變動を繰り返すが然して中限に廻り眞の展入深き者のみとなつて始めて面白き變化を見するには非ざるなきか併し昨今は相當に大變なる如く天災の眞最中にて恰も本日は二百十日前七日に相當し居るとある

▲追々厄日に接近しつゝ

ある秋に際し天候の變化は益々重大の関係を有する事なれば連日の好天氣に依つて又如何なる變動を起すべきか豫め計り難き地の保合に向ふ者少なからざる時である

▲渾混たる當限

當月限は今回裏面一萬〇二百石の取組あり何等の手口更になく双方共に擁して互讓する事を見ず最早納會も餘す處僅々二日あるのみ本月に入つて解合問題ありたるも成立を見る能はず今日に至れるより見れば裏面

渡を決心 裏面は已に受け

し居る者と思はれ而して之が賣方は全部不二興業

方は全部不二興業

と同一手口なりとの事である

▲審査著手

七月限の大渡し一昨日を以つて受渡しに前日は新來米の受渡した後り本日中であり格付審査に着手し存りに新差である二圓審査の事であるが之が爲め非常に手數を要すべく三四日後に非ざれば判定し

尚五萬叺の審査

を見る能はざるならんと

▲月末戰如何

十月限は强弱の攻擊入亂れ深甚にて八月限に次ぐの大取組を擁し居れるが此處月末の關係上大手筋は無論居るを以つて小口の手仕舞賣買多かるらんと思はれ

月末に際し一

變動を豫期して居れるが果して如何なる成行

變動を豫期

を呈するなるか

▲十限の前途

今や弱の模樣なるが入限共にて大取組を擁し居る十月限の前途に就て如何なる成行を演ずるかは研究を要する問題である軟派は本年の作柄は到底平年作を見るは困難にて作柄は鮮地に於ては比較的晝出されて居るものであるが朝鮮の如く

▲惑起

朝鮮に於ては今も必然である己に朝鮮米に買思惑が起つて居ると

朝鮮米に買思

惑起し居る方法にて取調らるべく互に著しく關係深き米商間には早くも此の相場を擁して契約の選びに立至るべく朝鮮米の前途は益々有望であるとの事

仁川米豆取引所

二十六日の十月限

前場

寄付	十三圓五十五錢
止め	十三圓五十一錢
高値	十三圓五十六錢
安値	十三圓五十一錢
出來高	一萬三千三百石
一節	十三圓五十五錢
二節	十三圓五十五錢
三節	十三圓五十五錢
四節	十三圓五十五錢
五節	十三圓五十二錢

平均値段

賣買取組高

八月限	二萬二百石
九月限	一萬九百石
十月限	七萬五千二百石

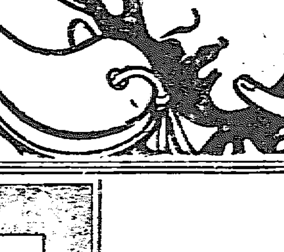
北濱だより

▲賣聯合説

其の眞僞は知らざれども昨今主力株が他の株が活動していても一向に之が影響を蒙らぬのは弱氣方針を持せる岩本氏を中心として竹久谷杉本の諸氏など之に加はつて賣聯合を造りつゝあるが爲めなりと爲る市場の一角に於て專ら噂せられて居るのであるが爲に強き賣聯合を爲し抵抗したと謂ふ事ではあるまいけれど何に於て强弱の歷入れ惡きかが立するのであるから昨今の主力株は或る範圍の高下を見るべき波瀾があるであらう今後は見るべき波瀾があろうと思はれるのである

▲明株は增配買

明治紡績は、月の如く一割を維持するならば三割配當は繼續し得らるゝ筈であるのだが九十錢さへ維持するならば今日では一割七分の直上にある丈け同社の營業成績は良好で今期は四割の配當に増配するやも知れぬ新しく見出したのであるが果して廿四日は三期非六十圓の利益があつたとすれば六十圓は尚は一割の好利廻りであるから尚は買餘地は有るであらうと唱へられて居るのである



衛生口錠 必ずカオール二三粒
暑さや疲勞に
ヒスイ色 まが玉形 カオール一袋添付卅五錢

生き返つた樣に好い氣持
カオール
◉人に接する時
◉悪疫流行の時
◉病氣見舞に行く時
◉食後、人込の時等最も必要である
特長 ▲他人の悪氣を豫防し ▲心身の疲勞を恢復し ▲精神爽快、元氣旺盛
オリヂナル本舖 東京 安藤井筒堂
關西總代理店 大阪 藤森薮之助

◉夏物絹セル洋服 鐵道局拂下品
一等 無キズ品 壹組 五拾錢
二等品 壹組參圓五拾錢
三等品 壹組貳圓五拾錢 以下
其外雨覆日覆用携帶天幕
雨合羽冬絨洋服外套類
和服洋服商 金子興市商店
龍山元町二丁目 電話一〇五番
二拾以上小包料幣店負擔 振替京城三八一三番

營業品目
油紙 合羽 防水紙 防水布 諸紙 肰袋 造紙 和傘
製造卸
登錄 ㊔
京城太平通二丁目
三百五十八番地
京城 高橋支店
高橋豊太郎

支店開設御披露
各位益々御清榮の段奉慶賀候扨て弊店儀今般左記へ支店開設仕候就ては確實を旨とし精々勉強仕候間何卒御愛顧御引立の程偏に奉願上候敬白
本店 愛媛縣宇摩郡川之江町
登錄 ㊔ 高橋直次

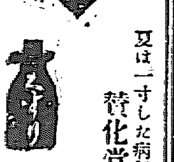
齒科診療
仁川山手町穴門通
東京齒科醫學士 飯塚喜四郎
電話三五〇番

品質純良
燒酎 味淋
エモト
發賣元
京城蓬萊町 三巴酒造場 電話長二〇六七番
三巴大田支店 電話長一二五番
三巴平壤支店 電話長五一一番

廣告
今般同業者組合規約に依り自今掛賣の義は一切御斷り申上候也
但し組合に於て認定者は此限にあらず
大正五年九月一日
仁川木材同業者組合

朝鮮總督府法定消毒藥
アイゼル液
無比の防臭作用と殺虫力を併有す
各地藥店にて販賣

◉假移轉廣告
今般市區改正に付改築迄警務總監部通（大倉組向側）に假移轉尙一般患者の診療は從前の通午前八時より午後九時迄從事致候此段廣告候也
◉假移轉先 京城大和町一丁目 警務總監部通（大倉組向側）
内科小兒科 婦人科外科 今村醫院 電話一八三一番



ちすり
又は一寸した病氣も御用心が肝心
賛化堂にはよい藥がある事を
常々から御承知下さい
京城本町二丁目角
古城賛化堂
電話一〇二番 長二三七番

[illegible]

宮本武藏

第百四十一回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

釜田四郎時貞の父は釜田甚兵衛吉次といつて元小西攝津守行長に仕へ度々の合戰に功を顯し、就中文祿慶長兩度の朝鮮征伐には主人行長に隨つて抜群の大功を樹てました、其後關ケ原の戰に小西攝津守滅亡いたし甚兵衛吉次は據なく故郷宇土へ立歸つて最早他家へ仕へるといふ氣もないから其儘農民同樣に日を暮して居りました、其間に大阪の戰ひなどもあつたが、捨つべきものは弓矢で

あるといつて浮世を外に送つて居ります、然るに元和の八年正月三日妻が一男兒を生んだ、尤も四人目の子でありますが總領を甚之丞吉刻といつて早世、次男を新次郎吉包、之れは關ケ原合戰の時本多出雲守の手に囲まれて討死いたし、三男を新三郎吉繁といつて之れは後に羅馬へ渡り彼地にて歿しました、四男は四郎時貞であります、其次に女子が二人出來ましたが之れには後に物語がある、さて四郎時貞は生れ乍らに凡庸の小兒と異なつた處があつた、四五歳の時分から習はずして書を讀み文字を書いたさうで、徳川幕府の頃には無論厳格かつたけれどもまだ島原あたりでは四郎の書いたものなどを大切に保存して居たものがあつたと

いふ事は古書に見へます、四郎の母の生家は細川の家來で須佐といふ武功の家であります、此母が頗ぶる賢婦人であつたといふ、後ちに四郎時貞が崇塚忠右衛門、毛利宗意軒などに勸められて一揆の總大將となり、肥前高來郡原山の古城へ立籠つて天下の大軍を引受け五箇月の間籠城いたしました、此時追討使松平伊豆守信綱、並びに細川越中守忠利の手に召捕つてございました四郎の母岸野、

及び妹留枝の兩人を呼出して　信「岸田甚兵衛妻岸野と申すは其方か　岸「ハイ　信「其方伜四郎此度一揆の大將と仰がれ、原山へ立籠り居る由、全く天草の土民に欺かれ、少年の事なれば何の分別もなく逆徒に與したる事と心得る、されば只今にても其の志を改め、城中を出るに於ては、四郎儀は流罪申し付け、其の方及び妹二人の一命は助け得させる、汝等家を思ひ、伜四郎の爲を思はゞ、速かに城中へ文を送り、我陣へ來るやうに傳へよ」岸野之れを聞くと大に喜び　岸「有難きお言葉、委細承知いたしました、早速書面を認めまして送ります」信「何卒御硯を拜借……」信「コレコレ彼女へ料紙硯を取らせるやう」と家來に命じて紙筆を取寄せ、之れを與へると、岸野は筆を取つてサラサラと手紙を認め、確り之を封じて　岸「左樣なら之を城内へお遣はし下さるやう願ひます」と差出した、伊豆守手に取つて見ると手蹟も美事、何にしろ封がしてあるから何と書いてあるか分らない、ソコで伊豆守自身に封を切つて中を見ると其文に

一筆はあらぬ事のみ思ひしに、思ひ掛なくも此度逆徒に一味に及ばれ候事、是非なき次第に御座候、去りながら只何事も前世の定め事にて候やらん、其城も永くは保ち得まじきと聞き候へば定めて最期も近き中と推察いたし居り候、就ては姉婿玄札殿へも能々申され、人々へも申勸め潔よき討死を致さるべく候、妾及び妹兩人も遂に同じ途に赴くべき死出の山にてやらんにて再たび對面いたすべく候、同じ逆徒の中にても大將と稱ばるゝ身の本望を思ひ候へば兎角未練の振舞あるまじく、此事のみ心許なく覺へ候、必らず／＼人々に後れ給ふな、呉々も家の恥をお忘れなきやう申進め候あら／＼かしこ
二月十一日　母より
四郎どのへ

伊豆守信綱讀了つて烈火の如く憤り給ひ　信「コレ岸野、假令汝は不屆の奴、我を欺むいて斯る書面を認め城内へ送らんとする、倍は汝等も固より一味同心にて、悉諸の上四郎を逆徒の首領と致したに相違ない、不埒至極の女奴」とハッタと睨んだ時に、岸野恐るゝ氣色もなく伊豆守の顏を見てニッコリ笑つた。

南米倉町朝市場通仁濟病院跡　內科　外科　花柳病　入院隨意　上野醫院　電話一九三四番

書畫用　絖　京染呉服商　まや出張店　京城本町　電話一一九六番

齒科診療　櫻井町大正館横(電取次二七〇〇)　滿田齒科醫院

八月廿八日九星　舊七月三十日丁酉　木命六白乾險赤口

▲六白　大發樂なる日新築見合旅行は吉、萬事慎むべし▲七赤　吉祥の日不動立身出世の緒なる日▲八白　好都合の日移轉居住は吉、旅行入學名弘合件採用は吉物に運の日▲九紫　誰の日新規手藝の事は吉小兒衛生水難注意▲一白　めでたき日轉居求職入學名弘合件結婚は吉子女を定める緣萬吉▲二黑　親の日轉居旅行入學名弘、商業締結試驗を受る緣萬吉▲三碧　厄介至極の事有る日新事手控事は吉一切のせわ事を慎む▲四綠　平運の日物の準備が爲は吉新事手控▲五黃　濃情の日轉居旅行入學名弘求職上出來ぬ

廣告

縮緬兵兒帶　勿驚本物一筋　タッタ貳圓
東京市日本橋區本石町二丁目縮緬問屋開谷商店にて賣出したる純絹保證縮緬兵兒帶は品質極めて上等にして然も大巾一丈物先に七圓五十錢賣れの品タッタ四圓に八尺物四圓賣れの品タッタ二圓と云ふ未だ曾てなき法外の馬鹿値でブン投賣をなし且つ大賣出の紀念として特に大奮發をなし美術を込めし西京西陣製の片側女帶地を兵兒帶一筋の注文毎に一筋宛の無代進呈をなすと云ふ因に希望者はハガキにて申込ば代金引替送料も賣で送る由

目ニ見ヘテ　ズンズンドキク　ジュマズイタマヌ　ロート目藥　井上博士ノ
眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の爲に悪いからロート目藥には消毒した布と、下圖の樣な新案の點眼器を添へてある
定價各藥店にあり　本舖　東京…大阪…山田安民藥房

わきが
にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方はアーザーを御用ひあれ　藥價卅錢六十錢一圓　京城黄金町三　電話二九四九　山田文殊堂藥房

月やく
月やくとまりて久しく順調にならず人知れず心配し他の藥でもきかぬ方は三錢切手封入御申込あれ無代にて治し方と不思議に下る藥を御知らせ致します　大阪市外天王寺四九八　いづみ屋

模範牛乳　純粹培養ヨーグルト　醫學博士肥塚正太經營　京城蓮町四　東亞牧場　(電話二五三番)

天性弱き人　試しに精力增し氣快く膽快
腦神經衰弱　腎虛弱　夢遺　陰萎　遺精　貧血　無能　老人壯年常用　に特効

高貴藥劑服用者身共に氣を加へ心英を用ふ
滋強丸
有効の證　見本給へ至急に服藥を

物品購買公告
一、馬車　壹台
一、荷車覆　五拾枚
此入札ニ加ハラムトスル者ハ保證金トシテ各自入札金高ノ百分ノ五以上ヲ納付スヘシ
入札者ハ京城府内ニ於テ國税、地方費、府税ヲ納ムル者ニシテ一年以上引續キ同業ニ從事スル者ニ限ル
仕樣書ハ本府會計係ニ就キ見覧スヘシ
右入札ハ本月二十八日午前十時本府會計係ニ於テ開札ス
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔當ス
大正五年八月廿二日　京城府

工事請負入札公告
一、鍾路公立普通學校並ニ水洗場附屬工事
此入札ニ加ハラムトスル者ハ保證金トシテ各自見積價格ノ百分ノ五以上ヲ納付スヘシ
入札者ハ京城府内ニ於テ國税、地方費、學校組合費ヲ納ムル者ニシテ一年以上從事シタル者ニ限ル
設計書、仕樣書及契約書案ハ本學校組合ニ就キ一覧スヘシ
右入札ハ本月二十九日午前十時本學校組合ニ於テ開札ス
此契約ハ京城府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正五年八月廿六日
京城學校組合

質　堀佐營業所　(電話六三九番)　京城黄金町二丁目　永樂町(停留所北入)

株式會社　京城葬儀社　電話一五六七番　本町一丁目(京城府廳隣)　中河原重吉　井上芳太郎　電話九五七番　靈柩馬車設備あり

遊漁船御案内　釣道具御小賣　芹川漁具店　仁川港岸町三丁目角　電話七五番

りん病　消渴で困る方　多年の慢性もすぐ治癒す
自宅にて人知れず安全秘密に治る良藥あり只一劑を試よ　三錢切手送れ其良藥と自宅療法の詳細を報す　名古屋市南かじや町　武藤亀吉

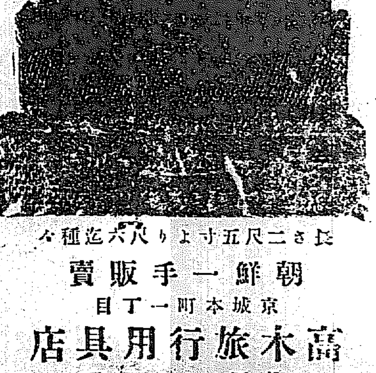
閑靜にして避暑避寒に宜し　溫陽溫泉

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四番
內科　小兒科　入院隨意　無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治　醫學士　上野亮藏

三和高麗燒は宮内省御用の光榮に浴したり　香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々
三和高麗燒　朝鮮特産　海老の精
海老の精は風味佳良。滋養分豐富にして貯蔵久しきに耐へ御土産として絶好の珍品に御座候
三和高麗燒元　海老の精發賣元　朝鮮鎭南浦　富田商會

花柳病專門藥房
●りん病藥壹週分貳圓特製參圓ばい毒藥壹週分壹圓廿錢特製貳圓小包料拾貳錢引換廿壹錢。
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會　滿鮮本部　振替京城四六七番電話二五六七番
●近來東京其他各地に僞ドラッグあり藥品に有田製鑑なき物は凡て僞物に付御買取の際御注意を乞ふ●詳細は本月一日の本紙を御覧

東京製トランク鞄其他旅行用具一切應法瓶中取替



長さ二尺五寸より六尺迄種々
朝鮮一手販賣
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

化粧難…の八月を
■瀟洒と見ゆる目涼しい化粧榮と
■薄紅と素顏の肌の美さを現し
■日焦を防ぎ白粉の乘延を援け
■薄化粧かくし化粧の品がよく
■イ、匂が肌に溢れ優婉を増す

銀の玉の様な綺麗な一二滴！
東京で一番よく賣れる美人となる
ホーカー液
ベト／＼しないで直ぐサラリと肌に染込で襟足が汚れない
(外の化粧液にない特長)
▼暑中御見舞贈答品としてホーカー液の中瓶と大瓶とは一本宛桐箱入にて體裁高尚優美頗る高評なり
▼眞夏の暑さに入つて、いよ／＼美容料の効能を現はすのはホーカー液の誇りとする處です。されば、家庭の朝夕は素より海に山にお出懸けになるにも、必ず片時も傍より離さない樣になさい、一二滴掌に零して、サッ／＼とお塗けになると清香馥郁として、身心爽かに萬斛の凉味を覺ね、日ヤケ、汗を防ぎ、色を白く、キメを細かに、自然の生彩を現し、白粉下、白粉のトキ水として、理想的の美しいお化粧が出來ます。
紳士の賞用
本品は、男子の美顏料として最好適で、朝夕の洗面入浴後、ヒゲソリの後先等に、一二滴お用ひになれば、色艶を與に男子らしき美しさにし、日焦、剃刀マケの憂ひなく、使用後スベ／＼として頗る快感を覺ねます
定價　大瓶八十錢　中瓶四十錢　小瓶二十錢
送料　内地八錢　滿鮮廿錢
ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髪液　ホーカースポート
本舖　東京和泉橋　堀越嘉太郎商店　振替口座東京一五六番

(一) 大正五年八月二十七日 THE KEIJO NIPPO (日曜日) (明治三十九年九月十八日第三種郵便物認可) (年中無休刊 但祭日及日曜の翌日休刊)

京城日報 第三版

廿七日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七十五錢
廣告料
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合名會社京城日報社

京城論壇

西北鮮人と三南鮮人
我が觀たる兩者の生活及氣風の差違

國分象太郎

三南とは所謂忠淸、全羅、慶尙道を指し、西北とは咸鏡、平安の各道をいふのであるが、曩年予は此の地方を遊歷した際人民の生活狀態並に其の氣風の一斑に就いて多少の識を得た處があつた。

彼の三南地方は土地肥沃にして耕地多く氣候亦適順であつて之れを土地磽确にして山岳縱橫し且つ寒氣嚴酷な西北地方に比較すれば、產業の豐否は到底同一の論でない。然るに三南に居住する人民は概して其日稼しの生活を營み、些の貯蓄心なく何等の餘裕を持たぬ爲め一旦凶年又は疾病等に遭遇する時は忽ち其の生計窮迫を告げて或は畓田を典し或は家屋を賣して救濟の途を講じなくてはならなくなる、斯くて負債償還の途に苦しむだ結果は遂に家財を擧げて他の手に委するもの比々然らざるもの無き狀態である。さなきだに彼等は一箇年の計を立てることを敢へてせぬから年々秋の收穫を了へて翌年の麥又は米の收穫期まですら俟つことが出來ず次年の生產に對して早くも前借をする、從つて其の收穫の過半は前年の債務に取られて自己の手に納めることが出來ないといふ有樣である。加ふるに米といはず麥といはず穫れば直ちに喰ひ盡して少しも之を延喫する心掛がない、其の狀恰も蟻の甘に付く如く家族を擧げて飽滿するから折角の收穫も瞬く隙に平げて仕舞ふ、而して喰ふものが無くなると今度は草根木皮を噛り未熟の麥を喰つて再び舊の慘憺たる生活に復る。其でも彼等は勞を厭ひ安を貪り、偶々勞銀を得ると其の金の無くなるまでは決して働くことをせぬ。斯の如く彼等は懶惰放逸に流れ其の日暮しの生活に慣れて秋毫も勤儉貯蓄の念が無い、然るに併合以來積年の惡弊は漸次革まり新政俳䠩にまで普及して今や些の誅求もないのであるが古來凶歉の久しき同地方の人民は倘ほ其の日暮しの弊習から全然脫するに至らない樣である。斯くて折角の善政も農家の經濟を救ふことが出來ない處がある、農民たるものは此の際宜しく左に相戒めて以て各自其の業務に精勵し奢侈を防ぎ安逸を禁じて勤勉貯蓄に努めることが肝要である。

然るに平安、咸鏡各道即ち西北地方に於ける一般人民の生活狀態を三南地方に比較すると非常な逕庭がある、三南地方は每春缺食の民を出し草根木皮を喰むで慘憺たる生活を爲すもの、多い事は前述の通りであるが西北地方の人民は非常な凶年の場合を除きては殆んど缺食の憂を見るが如きことの無いのは到る處官民の齊しく證言する處である、が實際に於て西北人は古くから一年の計を立て其の上倚ほ貯蓄の念を離れぬ風がある樣である。試みに民家に就て見るも各戶とも大抵一箇年間以上の食糧を貯へ收穫後餘裕あらば之を賣却して更に貯蓄に努めて居る、而して家屋及び日用衣食品の如きも之れを三南地方と比較すると遙かに優れて居り又た一般の氣風も寧ろ物事に執拗なる方であつて甚だ勤勉である。

鮮人の氣風を說いた昔しの書物を見ると咸鏡平安の人は倘質不務華奢とか驍勇而雄强とか俗悍而緊、又は借與無寬貸といふ樣に認められ、三南の人は土厚風順とか民風樸朴とか進止有禮謙讓又は見人必跪などゝ評せられてゐる。之れに徵すも三南地方の人民は從順にして服從的であり、西北地方の人民は朴訥にして强悍である事が判る、一言にして約せば三南人は屈從的であり西北人は抵抗力に富むでゐたといふことが出來るであらう。

さらば何故今日の西北人と三南人との間に斯く日常の生活並に氣風の相違があるかといふに、予は兩班の門閥が彼等の間に占據して專橫を恣にしたと否とが其の主因を爲したものであらうと思惟してゐるのである。

抑も李朝の始祖李成桂が朝鮮を建設した際西北及び松都人勿許淸官と戒飭し、之を兩銓政に揭げて文武堂上官に採用するの途を絕ち、僅に文は不過持平掌令、武不過僉使萬戶として堂下官に採用するに過ぎなかつた——李成桂は咸鏡の兵を提げて高麗の王氏を松都に滅した者である、然るに其西北人の重用を禁じて高麗部の人民と同一の冷遇を加へた一事を見るも古くから同地方の民心が未だ從順でなかつた事を證するに足るだらう——從つて西北地方に在つては李朝時代の所謂兩班種族は殆ど皆無であつたといふも敢て不可でない。然るに之に反して隨所に兩班の占據した三南地方は氣候は溫和であり土地は肥沃であつて其の生產力も到底西北の比肩する處で無いに拘らず生民の生活狀態に至つては西北地方に及ばぬこと遠いものがあるは惟ふに兩班中には無爲遊食の徒が多く廢地方官憲と結託して附近農民を凌虐し之を苛使して其の生產力を奪ふた爲め、農民は終歲生業に勵精するも倘ほ饑寒を免れることが出來ず勞多ければ倒せらるゝこところ亦多かつた結果自然其の日暮しの生活に甘んずるの餘儀なきに至つて遂に今日の貧弱に陷つたものに相違ない。之に反して西北地方は兩班種族の跳梁するものが無かつた爲め其の壓制誅求を免れ、常時の生活を持續して今日に迨むだものであつて、昔て李朝五百年間化外の民として冷待酷遇されたことは却つて今日の非常なる幸福を齎したのである。要するに三南人は常に兩班の勢力に風靡せられ之れに屈服し來つた結果は今日の如き憐む可き柔色の民となり、西北人は兩班種族の貪慾の手を免かれ各自の勤勉努力に依つて產業を全ふすることを得た結果今日の如く兎に角餘裕ある民となつた次第であつて之れは寧ろ當然の事と謂はねばならぬ。

斯く西北の生民は幸にも自家の財產を全うし來つたのであるが之れと同時に彼等は三南人の如く兩班若くば官憲に對して從順でなく自己の生命財產を保護する上に於ては極めて熾烈な抵抗力を涵養した。舊韓國時代には地方官は三南地方の任命を喜び西北道に赴任するを嫌つた事實があるが這は三南の人民は從順で能く命令に服從し又た能く其の誅求に應ずれども、西北の人民は資性慓悍にして較もすれば官憲に抵抗し其の命令に服せなかつた爲めであつて、若し暴官汚吏が誅求を事とし其の私慾を肥す樣な事があるときは住民は直ちに結黨集團して官衙を襲ひ、又は赴任の途を擁して其れを奪ひ返へすなど、斷じて其の所得を境外に持ち出すことを許さなかつたものである。——予は曩年北の地方の巡歷に當つて或る古老に聞いた事がある、昔し某地方官が來て倉庫を導にした樣な事のあつた場合には沙鉢通文を圓境に馳せて直ちに一團を組み、件の地方官を捉へて所得を吐き出させねば止まぬ、而かも之は獨り上官に對してのみでなく隨員に向つても左樣したさうである——沙鉢通文は白紙に大きな茶碗の輪廓を捺して圓形を作り、其の外廓を逈つて一味徒黨が署するもので頭なく尾の無い爲め誰れが首謀者であるか判らず其の責任を平等に負擔する樣に出來た一種の連判帳である——之れに依つて見るも彼等が官憲の威力を恐れず如何に其の財產保護に努めたるかを窺ふことが出來るだらう。

之れを要するに西北の人民は其の富を保護するに强烈な抵抗力を持つた爲め自然生業に勉强して蓄積の習慣を作り、三南の人民は兩班、暴吏の侵害を不可抗力と心得寧ろ赤貧となつて其の害手を免るゝ事が一家の安寧であると考へ來た結果、遂に今日の如く貧弱に陷つたものである。然るに新政施行以來普天の[illegible]聖恩の澤に浴し、生氣あつた西北の鮮人は益々活氣を加へて產業の發達にいそしみ、嘗て衰色あつた三南の鮮人も漸く蘇醒せられて生業に勵む樣になつた今日であるから、三南の如きは氣候風土の天惠より見るも將來必ず異常の發展を見る事であらうが、今日にして思へば兩班種族が彼等に齎した惡影響は思ひ半に過ぎるものがある洵に同情に堪へぬ次第である。

經濟資料

朝鮮の棉花及麻類(五)
其生產の現況及び將來

經濟調査會に於ける 中村技師口演の一節

二、麻

□麻類の用途(續き)

草鞋と云つても先づ內地の草履と草鞋の合の子見たやうなもので、粗末に出來たのもあるが、却々上品に出來たのもある、其の草鞋の原料に澤山使ふのである。要するに大麻なり苧麻なりの作付反別は可なりにある。之を內地に比較して見ると、內地は大麻が一萬一千町步、朝鮮の方は一萬六千町步、それから苧麻の方であると內地が四百十五町步、朝鮮は一千一百町步、作付反別を內地と比較對照した場合には可なり麻の纖維が澤山出來る譯であるけれども、反當收穫を比較すると大麻にしても苧麻にしても朝鮮に於ては內地の三分の二しか取れぬのである。而して一面先程述べた如く織物として消費額が多大であつて、其の外草鞋の用途がある爲めに朝鮮內に於て從來生產せられた所のものは朝鮮內に於て消費して仕舞ひ更に其不足の分は支那より年々輸入して漸く需給の平均を得て居るやうな狀況である

□產地の狀況 今大麻及び苧麻の產地を見るに大麻の方は十三道に就て其主產地とも認むべき所をよく調べて見ると、何れも道と道との境に位して居る、即ち山間部に位して居る、畢竟幾らか濕潤なる空氣を好むと云ふことに適應する爲めにさう云ふ地方に麻の發育が宜しいから期せずしてかゝる位地を占めて居るのであると思ふ。さうして其山間部に於て栽培せられて居る所は云ふ所であるかと申すと大概住宅の側とか云ふやうなものであつて、蔬菜例へば白菜とか蘿蔔とかを作つて居るのである。少し細目に涉ればこれを述べぬと判り惡いと思ふが、大麻は四月の末から五月の始頃蒔き八月には刈る、其刈つた跡に白菜とか蘿蔔とかを作り其冬期には地面を遊ばして置いて翌年亦其處へ大麻を作ると云ふ順になつて居る、其であるから大麻を作る土地は先刻述べた棉を作るやうに大抵の所へ持つて行つて作ると云ふ譯には行かない。蔬菜を作る土地は肥沃で、耕鋤も可なり深く地味は肥沃で、今茲に大麻の作付反別を擴張しやうと云ふた所で直ちに之を擴張すると云ふ譯には往かぬ。棉作を殖やすのやうに今迄豆を作つて居つた所へ陸地棉を以てすると云ふやうに代へる譯には往かないのである。又苧麻に就て申せば朝鮮に於ける苧麻は上中流の人が澤山著る。此の織物の主產地は先づ忠淸南道の韓山と云ふことになつて居る、韓山は今日最も盛んであつて韓山の苧布と云ふ言葉は朝鮮全土に響き渡つて居る。

バイカイ問題(二)
法律上の解釋

東拓會計部 廣田七郎(寄)

成程『バイカイ』行爲を呑行爲と同一視するを得ずと云ふことは至極同感である何となれば呑行爲は明らかに犯罪行爲であつて仲買人は客の賣買の注文ある時故意に其注文を呑んで最初から客と勝敗を爭ふことを唯一の目的として居る取引所の保護なきは勿論惡仲買人が不正に私腹を肥さむ爲めに爲し社會の風紀公の秩序を攪亂する事は一通でない、然るに『バイカイ』は今日の社會觀念上犯罪とは見て居ない亦當該官廳も之を默認して居るのみならずその取引は日々取引所の帳場に登載されて取引所の保護がある譯であるから之が爲めに客に迷惑を掛ける事は少ない。此等の點で呑行爲と『バイカイ』とは本來相異るものであると云つてよい、只控訴院が『バイカイ』行爲を適法なる商慣習なりとせる點に於て予は大に疑なき能はずである商法第一條の規定は商慣習法は商法に次ぎ民法に先ちて適用せらる可きものとして居るがこは商慣習法と商慣習であつて商慣習法の性質上截然區別せざる可からざるは明瞭であつて商慣習ではない商慣習法でないものは未だ法力を生じない從つて商慣習に就ては規定をして居ない、而して商慣習に從ふ事が果して適法なりやは民法第九十二條に依つて決す可きであらうと思ふ、獨逸商法では共に商行爲の解釋を爲すには商慣習に留意す可き旨の規定があるが我商法には具體的にかゝる規定なし。『バイカイ』行爲は今日の商慣習たれば最早或地方の商慣習と見ることは出來るが而し單に事實上の商慣習たるに止まり未だ以て法力ある當然民法第九十二條に云ふ事は出來ない當然民法第九十二條は法令中公の秩序に關せざる規定に異なりたる慣習ある場合に於て法律行爲の當事者が之による意思を有せりと認む可き場合に其慣習に從ふ可きものと規定して居る、尙反對解釋として或る慣習にして公の秩序に關する規定に違反するものであらば假令當事者間に該慣習に依る意思の有無に不拘其の行爲は違法且無效のものとなさざる可からず。今所謂『バイカイ』行爲は果して公の秩序に反せざるであらうか明治二十六年勅令第七十四號及び法律五號は其性質上公の秩序に關する規定なりと斷定するに躊躇しない蓋し取引所の經濟上の作用は取引せらるゝ物品の需要と供給とを調節し公定相場を定むる事の外其物品を取扱ふ商人の危險を取引所に轉嫁する效用を有し此點に於て少くとも保險の如き作用をなす(掛繫取引)かく取引所の經濟上の效用大なると共に一方に於ては之に伴ふ害用の結果は更に大なるものあり投機者流が之を濫用して私利を營むことは屢々目擊する所である以て玆右の法律勅令が發布せられたので其の精神たるや公の秩序を取締るを以て目的としたものである

鼈移出の前途
內地の需要廣汎

朝鮮產鼈の移出せらるゝものは京釜湖南京義等各鐵道沿線のものにして鐵道小荷物にて大阪、東京、名古屋其の他各地に仕向けられ移出額は大正三年には七萬六千四百餘斤なりしも大正四年には九萬三千七百餘斤を算し此の價額一萬五千二百餘圓を算せり而して其の內大阪に仕向けらるゝものは約三分一即ち五千貫內外也とす。內地に於ける鼈の生產は僅々たるものにして其主產地たる近江琵琶湖附近及び豐後地方を合せる產額約一千貫に過ぎず而も專ら大阪に集中して他地方に及ばざるより內地に二三養殖を試みたる者あるも種々の事情は收益思はしからず失敗に歸せるもの多しといふ。而して朝鮮產の內地に於ける用途は一部倒直しに用ゆるものあるもそは比較的少數にして大部分はソップ用に在り、又た料理用としては概ね二三流の料理屋向にて一流に於ては內地產を使用す、從つて價格は內地產に比し非常に徑庭あり昨今大阪の市價は內地產十貫匁百五十圓內外なるも朝鮮產は上等品四十圓下等品二十圓を唱へ居れり右の如く內地の需要の鼈は殆んど朝鮮產の狀況なるが其の市價は時季に依りて高低あるを以て將來更に販路を擴張し需要者を增加するも亦夏季は出荷多きを以て運送困難なるに拘らず價格下落し冬季は出廻り斷きより相場高位にあるを普通とする故に朝鮮に於て夏季捕獲せるものは適當の池水に貯藏し置き冬期を俟て移出すること最も得策なる可し

日報俳壇

□蟋蟀(五の日十の日句會吟)

蓮のまゝ引ずり入れ蟋蟀かな　坡柳
下駄からげて砂利道の蟋蟀　浮碧樓
○
砂踏むな草に入るきりぎりす哉　虎耳
○
しびれしまゝにいざりつ蟋蟀　句平
○
熱い茶の飲み度き蟋蟀の夜　鳥堂
○
舞さらへ居るきりぎりす　日池龍

日報俳壇　雉子郎選

悼石島知君通夜
水色の壁や百合影灯に搖るゝ　容堂
魂のなき子の枕邊や夏の虫　同
靜かさに寐られぬ庵や明易き　同
遠蛙絕ゆて夏の灯更くる哉　同
出府
白百合や女が泣けば我作ら　同
埋葬
石竹や獨唱の聲身に沁みし　同
悼嬰兒
淚なき國ぞ凉しき花滿ちて　雉子郎

◎京日俳壇投稿家諸兄に告ぐ　雉子郎

□京日俳壇小生選の分は本日を以て全く掲げ終り候。顧みれば小生選の二箇年、熱心なる投句家諸兄の努援によりて、愉快なる任務を盡し得たる事を感謝致候、同時に社內日池氏が、自ら信ずる所他にあり乍ら我等の爲に快く紙面を割愛せられたる宏量に對し、謝する事を忘れざるべく候。□昨秋諸兄が力作を集めて『京日俳句鈔』を出し江湖の歡迎と、中央俳壇諸先輩の好評を贏ち得たる我等は、此機會を以て更に『續京日俳句鈔』を出す計畫に候、最近一年間の進步は斷然顯著に候る所多く候故諸兄の一讀を强要するものに候

▲(イ)大に賣る　▲(ロ)大に賣る　▲(ハ)大に買ふ

十六日の十月限　十三圓四十錢　十三圓三十六錢
八月限　九月限　十月限
一萬九百石　一萬千四百五十石

現代婦人
惡習慣を改めよ　嘉悅孝子
疫痢の小兒を癒した私の經驗　矢野かめ子
子供の病氣は親の不注意　岡ふさ子
家庭を圓滿にする秘訣　中上紙重子
共稼をしてる私の家計　非ひさ子
初兒を育てた苦心　加藤千鶴子
夏衣の仕舞ひ方　秋谷子
家庭小說 繪具皿(毎號連載)　德田秋聲
歷史小說 妙海尼　三島霜川
●乳房に就ての衛生　羽太ドクトル
●衣服の疊み方と仕舞ひ方　土谷孝子
●毛髮を美しくする法　藤波芙蓉
簡單な家庭調劑法　長谷川藥學士
有力なる素人健康法　中八
●主婦としての二大要件　山本りう子
●婦人の裝ひに就ての注意　秀輔
●家庭實驗(內職、洗濯、料理)其他種々
▲寫眞小說 再會　▲美人畫
自分を尊重せよ　岡田博士
九月號 定價十五錢

中學世界 九月號 定價二十三錢 郵稅二錢 東京本町 博文館
神經と筋肉(新學生訓)　三宅雪嶺
二百十日と暴風雨　中村勝次
早稻田高等工科生活
青年と政治家　マトキサ
普賢菩薩のやうに　浮田博士
戰時の英國旅行(一高ロマンス)　生田葵
先生樣と生徒
大學者の不思議な事件
南洋見物
關東野球大會見物の記
木乃伊の惡戲　阿武天風
甲武信ヶ嶽の尊き犧牲　陸軍大將 一戶兵衛

料理の友 九月號
新味と實益の料理の友九月號は美麗なる彩色畫及精巧挿畫百餘個挿入
菜食と健康　醫學博士
安價生活 五錢で出來る副食物
趣味ある月見の御馳走
特色ある地方料理　病人の食物
生活問題
十錢會費の面白い料理會
ビールにも御酒にも向くお肴七種
日本風に折衷した晩餐向西洋料理
簡易な洋菓子デセール
氣の利いた殘暑の飮み物
家庭と魚類
一冊一錢　大日本料理研究會

◎新學期開始
短期速成 建築科講義錄
◎會員大募集
▲僅に一年にて建築の奥義を極むる
▲會費は低廉にて講義は平易明瞭
東京 工業教育會

◎鄭家屯事件と談判地
北京に於て開かれん

鄭家屯事件調査中なりし酒匂奉天總領事代理は二十四日鄭家屯を出發し鐵嶺に歸りたるを以て同事件の報告も二十六七日中に到着すべく其の上にて閣議を開きて交渉條件決定さるべく談判は支那側にては問題を地方的に爲さん爲め奉天に於て行ひ度き意嚮あれども事件の性質が總領事の所管のみに非ざれば談判は北京に於て開かるべし(東京特電)

◎北京外交部の抗議

外交部は鄭家屯に於ける我が軍隊の行動に就き屢々我が公使に抗議を申し込み居れり(北京特電)

◎參衆兩院合同會議

二十五日衆議院は速かに參衆兩院合同會議を開き憲法會議に關する件を協議する事を議決したり右兩院合同會議は來週開會せらるべし(北京特電)

◎賠償金を得て退却

鄭家店方面に於ける蒙匪は支那官憲より賠償金を受け和解する事となり二十四日頃より其の根據地に引き上げたり(北京特電)

◎黑龍省の戒嚴令

黑龍省は蒙匪警戒の爲め戒嚴令を布けり(奉天特電)

◎附屬地匪徒掃蕩

柴參政官來滿交渉の結果匪徒を各附屬地より一掃する事とせるが各地宗社黨も大勢の非なるを知り何れも解散せり唯金鼎臣一派に屬するものは今尚蠢動しつゝあるも結局問題とならざるべし(奉天特電)

◎獨艦隊遁亡
飛行船の教導に依り

ロッテルダム來電に曰く和蘭商船々長等の所見に曰く船長等は(月日脫漏)午前九時六十隻の軍艦がツエッペリン飛行船三隻の教導を受けて航行するを見たるが午後六時更に北方に於て再び東方に向ひ只管急げる右艦隊を目撃せりと又た他の船長等の談に依れば彼等は前記船長の目撃せるより一時間前英國艦隊が敵艦隊を目指して北方に急航する見たるが此の時三隻のツエッペリン飛行船北方より其の姿を現はし英艦隊を發見するや直に頭を回して飛去れり獨逸艦隊は之より狂はん許りに狼狽して退却し始めたるを見たり獨逸艦隊は數時間海上を遊弋して敵艦隊の捜索に從事し居たりと(倫敦電報)

◎英海軍獨潛艇捕獲

英國某汽船々長の言明に據れば英國海軍は北海に於て鐵[illegible]を以て獨逸潛航艇ブレメン號を捕獲し直ちに之を某の港に引き行けり(倫敦電報)

◎英軍砲火を冒して進擊

英軍は勃軍の砲火を冒しクチユック附近に於てアンギスタ河に架せる三箇所の橋梁を破壞せり(倫敦電報)

◎羅馬尼の態度如何

アムステルダム來電に依れば消息通を以て許さるゝベルリナー、ターゲブラット紙ブカレスト通信員の所報に曰く羅馬尼が一時靜謐の狀を呈し居れる事實を以て同國が戰爭加入の意なしと解するは當らず羅馬尼首相は必ず聯合國側に加擔して戰爭に加はるべし然れども平和會議に際し羅馬尼は又他列強と同じく決定的發言權を有せしむべきか或は單に助言するを得るに止めしむるべきかにつき未だ各國政府の間に完全なる意思の疏通を見ずと(倫敦電報)

◎東淸交渉延引理由

日露協約附帶條件なる東淸鐵道及び松花江問題の交渉未だ終結せざるが右は細目に渉り東京と露都間に書面の往復にて交渉するを以て斯く永引くものなりと(東京特電)

◎大演習期決定

今秋福岡縣下を中心として大元帥陛下親しく御統裁の下に執行せらるべき陸軍特別大演習は來る十一月十一日を以て開始十四日終了すべく決定せるが恒例に依り翌十五日大酒宴あるべしと(東京特電)

◎西鮮の寶庫黃海道(下)
林東拓理事歸來談

右の如く經濟關係より云ふも鐵と云ひ農作物と云ひ決して三南地方に劣らざる地方なり然るに右說けるが如く世人に知らるゝ事少き爲內地人の移住者鮮く大正三年十二月末現在にて僅に二百七十戶を算するに過ぎず左れど漸次其眞價も知れ渡り三五年の後に於ては思ふに見るに足るべき地方たり得ん然の如く內地人の移住者も鮮く隨て米質改良の如きも行はれざる筈なるに其れが非常に普及し居れり黃海道法定種たる日之出の如きは到る處に迄普及し居りて驚く許りなり而して現在に於て沙里院にて在來種の取引四圓五十錢程度なるに日之出は七圓にて取引せられ居れり之れ他に道種苗所等の努力の效果ならん更に從來パラ蒔き(チカ蒔)行はれ其理由として氣候寒冷なればと言はれ來りしが何等其等の意味なく近來餘程の深田にあらざれば總て移植を爲し居れりチカ蒔ならば草取りも五六回行はざるべからざれど移植ならんには三回位にて濟む卽ち勞費も少き結果と成る本年の如き雨量も適順なれば今の處全羅南北等に比し

▲豐作の見込 なれど茲に一事の憂ふべきは例年九月に至れば上旬より中旬にかけて大降雨あり其被害鮮からざるより本年も來月十五日の滿潮迄に水害なくば正に十二分の作ならんと祈られ居れり入あり黃海道の視察を爲さんと欲せば午前九時十分南大門を發し沙里院より自動車に賃せば午後六時には既に海州に在り從來仁川に出で仁川より海路龍塘浦に到り茲より海州に入り居たる道順と比すれば正に思ひ半に過ぎず沙里院より海州に到る近は朝鮮內地を紹介するに就き

▲最上乘の地域にして先づ沙里院に到れば鳳山郡廳あり面役所あり以て地方行政の一斑を窺知し得べく東拓會社の移民も住し百餘の生徒を有する內地人小學校もあり自動車を走らすれば須臾にして載寧、鳳山兩郡の大平野あり沿道附近の山相林相亦見るべく▲載寧邑に到れば內鮮人邑を爲し茲には地方金融組合あり憲兵分隊あり以て地方金融狀況と警備の一端を知り得べし而して海州に到り一泊して翌日は京城に歸著し得べし卽ち往復三日あれば充分に黃海道の視察を爲し得べし殊に海州より一里半俥を賃すれば三十五錢にして龍塘浦に到り著く舟著き場にして非常に心地よき處なり現在旅館一軒、空家二階建一軒あり予は此處に一泊せるが家の直下迄潮滿ち來り然も更に危險なき砂地にして以て浴すべく更に淸冽なる飲用水あり加之蚊棲ます

▲年中蚊帳なしの極樂なり世に多く知られざるは人の行く事尠きと▲讀じ來り讀じ去れば黃海道の爲めにして人一度歩を道內に移せば各方面に於て充實完備せるに必ずや一驚を喫すべし予は切に黃海道の廣く世に知られん事を期して切望するものなり(完)

◎民間水產養殖

總督府にては漁業の獎勵と共に水產物の濫獲を取締りて其の蕃殖を保護し更に進んで人工增殖と需給の調節を圖る目的の下に養殖業を獎勵し政府は鮭、鱒及び鯉の人工孵化養殖を試驗し各道にては海苔、鯉、牡蠣、鯽、鰻、鯔等の養殖試驗を行ひ範を地に示すと共に適地を調査して以て適種魚茶藻類の養殖を獎勵せる結果著しく斯業に對する觀念を普及せしめたりと雖も日尙ほ深からざるを以て未だ其の盛況を見るに至らず現在民間事業として最も發達せるは全羅南道及び慶尙南道管內に於ける海苔養殖にして之に次ぐは咸鏡南道永興灣の牡蠣養殖とし京畿道管內の鯉、鯽及び慶尙南道管內に於ける鯉の養殖は規模未だ大ならずと雖も既に相當の成績を示しつゝあり

◎紅蔘の增收額

專賣課開城出張所にては人蔘特別耕作區內に對し二十二日より收穫査定を施行しつゝあるが本年は査定班を六箇に分ち專念査定を急ぎ居れるを以て九月六日の頃には全部の終了を見るに至る可し、而して之れを前年に比すれば終了期に於て約二週間を早むるを得べく這は收穫間數增加の結果作業日數上の關係に基くものにして査定終了次第直ちに收納に著手する筈なり、當局の觀に依れば本年の豫定收納額は約三十五萬斤を算し之れより三萬五千斤の紅蔘を得る見込にて前年に比し約一萬斤を增加す可く之れに依る政府の增收入は六十五萬圓內外なりと

◎新繭製絲の輸出

京城恩賜製系場製系五百斤は目下横濱中にして近日又復横濱を經て米國輸出の筈なるが今回の分よりは本年度新繭を以て製したるものにて前回に比し幾分優良と認められ同場製系力は從來の統計に見るに一箇月約百貫價格七千六百圓となり居れり

◎兵營道路用地協議

大邱兵營工事は其後著々進捗し將校宿舍の如きは既に八分通りの竣工を了し又城壁より將校宿舍に至る四間幅の道路も九分を了したるが尙ほ十二間道路の延長線及び南門外より兵營に至る道路(幅員六間乃至八間)施工に就ては府の管內は府廳專ら之が衝に當り郡部に屬するものは道廳直接之が施工の衝に當り既に設計其他諸般の調査を終へ一部は己に著手したるも是が用地移轉業に關し交渉進捗せざる爲め從來の關係上是が交渉方を大邱旅團期成同盟會に依賴し該期成會は二十六日午前九時より各關係地主を道廳樓上に招き熟議せり因に服部慶北警務部長小牟田大邱警察署長も臨席せり

◎慶北地主組合

慶北道管內に於ける十結以上の大地主により組織せられたる慶北地主組合は昨年組織以來道當局の指導により著々成績を擧げつゝあるが同組合員の昨年中細農に貸付けたる優良籾は千百四十三石餘貸付人員二千六百七十三人又同組合の斡旋にかゝる共同購入種籾五百九十三石五斗二升購入人員三千四百七十八價格三千六百八十一圓二十九錢に上り地方農事改良の爲め少なからざる貢獻をなしつゝあり

◎京城圖書館の擴張

京城圖書館にては今回官民四十餘名を許議員として贊成を受け漸次二百名の贊助會員を得て少くも毎月四十圓內外の新刊書籍を受入れ同館の階上階下全部を開放し會員の俱樂部に充て讀書は勿論碁將の對局に半日の消遣を試みることを得るの便に供し又三十名以內の小集會の開催或は三五人の協議會茶話會生花其他練習會等時々高尚なる書畫骨董の陳列會開催等に隨時利用するを得せしめ以て會員及び一般の便を圖り進んでは閱覽室を擴張して月一二回の學術講演會の開催をも爲し利益問題の外何事をも顧みられざるが如き淸趣溫情の少なき京城の天地に新鮮なる智識及び趣味と慰安とを與ふるの計畫なりと云ふ管理者山口精氏は近日館に其居を移す等著々進捗し居れり

◎研究會證書授與式

永樂町二丁目の研究會にては來る三十一日の佳節を卜し本學年の卒業者及び修了者に對し證書授與式を行ひ同時に擧て同會にて開催中の臨時受驗講習會員の修了證書授與式をも併せ擧行する由

人事消息

▲小原新三氏(忠淸南道長官) 二十六日入京朝鮮ホテルへ投宿
▲中村芳樹氏▲同新三氏▲同某一氏▲同健三氏(以上中村滿鐵總裁令息) 同上
▲上田恭輔氏(滿鐵社員) 同上
▲武村勢氏(大倉組社員) 二十六日夜入京天眞樓へ
▲齋藤喜兵衛氏(大阪殖林所員) 同上

■南言北語■

獨逸では人間の種が盡きかゝつて苛拔な人間繁殖術をやつて居たが▲其れでは唯殖ゆる許りで大分手古摺る事であらうと不用心配をして居たが▲其れ處の騷ぎちやない愈々食ふに困つて饑餓に泣く者が多くなつた▲先づ第一にへタ張りかゝつたのは婦人の連中で一週間に百十八名の自殺者を出した處もある▲夫れに捨兒が非常に多くなつて伯林などでは一日に三十二名もある▲何れも此の兒捨てずんば此の身餓ゆだからやり切れまい▲なんぼう獨逸が强い事許り云つたつて愈々お陀佛も近づいて來た▲此の上人工繁殖法をやつた日には捨て兒で足の踏み入れ所もなくなるのだらう▲國內では食糧缺乏のみならず金屬類にも非常の不足を告げたる爲め今度硝子の彈丸を作り出した▲實戰に應用して見ると彈丸が命中する毎に炸裂して粉の樣になるので敵を惱ます事は非常だと云ふ▲新發明丈けは矢張獨逸が豪い▲今は昔袁世凱氏將に帝位に登らんとした▲例の張勳老人は密かに五百金を投じて美々敷龍袍一襲を製作し▲愈々登極決定せば陳橋の故事に倣つて早速之を獻上してお覺え目出度からんとして居た▲處が大典籌安會でも四十萬元で龍袍を製して其日を待て居たが氣の毒ながら彼の始末▲籌安會の分は早速珍珠寶石を剝ぎ取つて古物屋に賣り飛ばした▲張先生は致方なく隱して置いたが今度正夫人の誕生の賀筵の餘興として名優を招いた▲演戲の際一座中の劉鴻升と云ふのが皇帝に扮するに當り張先生は例の龍袍を取り出して著せて見たが大喝采であつたので其儘俳優にお禮として遣て仕舞つた▲幸か不幸か袁氏の盛裝になつた四萬々民を威服すべかりし龍袍も今は一俳優の身に著いて皇帝の威嚴を劇にのみ現はして居るのは妙な因緣

◎聯合軍サロニカ進出

マセドニア戰線よりの報道に據れば聯合軍は頗る優勢の地位を占め而も此の程よりサロニカ北方より敵軍の威嚇を被る虞れありしが今は却つて其の方面に顯著なる進出を爲しつゝあり(倫敦電報)

◎露軍勃國進入準備
大軍を羅馬尼國境に集中す

露軍は羅馬尼を通過して勃牙利に進入する爲目下大軍を羅馬尼國境に集中しつゝあり尙ブタペスト來報に據れば羅馬尼は露軍の通過に際して共同準備を整へたり(倫敦電報)

◎英軍優勢佛軍進出

二十四日發表公報に曰くゾンムの北方に於ける我が軍はモーレパ地方の獨軍陣地を攻擊し村落の一部及び塹壕を奪取し二基米突の戰線に亙り其の前方二百碼の地點に在る敵塹壕を獲得し捕虜二百名機關砲十門を鹵獲したり佛軍はフルーリーの前方に些少なる進出を行ひ三百名の捕虜を獲たり(倫敦電報)

◎政府[illegible]
◎露軍進出

●朝鮮鑛業界空前の良著 定價壹圓貳拾錢
朝鮮鑛業要覽
附錄 朝鮮地質鑛産圖
本書の內容は朝鮮總督府鑛務課最新の調査に係り加ふるに朝鮮の現行諸法規一切を網羅す鑛業家は勿論苟も朝鮮鑛業に志す人は何人も其一部を座右に備へ置かざる可からず特に朝鮮地質鑛産圖は鑛務課專門技師數氏多年全鮮を踏査し心血を注ぎて調査したる精確無比のものにして未だ世上に發表せられたる事なき探鑛者必携の羅針盤なり
讀者の御希望に依り 附錄 朝鮮地質鑛産圖 定價八拾錢 一の分賣に應ず
發賣元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

◎永年ペンの權威はスワンに有り求めて御試用せらるゝはスワン萬年ペンであります
各地文具店に販賣す 定價貳圓以上 各種カタロク進呈
大阪平野町二丁目 スワン總代理店

夫婦共稼號
夫婦共稼の經驗
▲十三人家內の主婦で小學教員……(宮崎貞子)
▲夫は醫師妻は產婆として働く……(秋山…)
▲共稼から受くる利益と苦痛……(野の花)
▲夫婦共稼で千五百圓の蓄財……(咲子)
▲共稼で築き上げた私の家庭……(里の人)
▲結婚後七年間の共稼の經驗……(はる子)
▲共稼を止めてから得た利益……(雨女)
廣い意味の夫婦共稼……鳩山春子
▲こんな家庭でも此意味の共稼は目下の大急務です
眞の內助と夫婦共稼……磯村鶴子
▲共稼も一種の內助で、此の事を忘れると大變です
共稼は幸か不幸か……都河主幹
▲之は共稼の利害得失に關する最も公平なる批評です
誤り易き安價生活……澤村博士
我校で實行する廢物利用の精神……若林校長
主婦の讀物
▲子供を丈夫に育てる秘訣……都河龍
▲素人にも出來る子供洋服……宮崎いさ子
▲家庭で出來る西洋洗濯法……長山梅平
▲家庭藥デアスターゼの話……井上建子
▲日燒けを早く治す方法……北原十三男
▲大正式挿花の獨稽古……岡田廣山
▲子供に多い脫腸症の手當……野谷醫學士
▲季節向きの會席料理……細井きよ子
▲月收六十圓で九人の家計……ゑみ子
▲共稼で月收三十圓の家計……かなめ
家庭小說 憂き身(泣かされます)……柳川春葉
婦女界九月號 一冊十七錢郵稅一錢 半年稅共一圓十三錢 一年稅共二圓十五錢
東京牛込加賀町一 婦女界社 振替二〇二八三

日韓書房
新版報告
佛國アル少佐著 獨逸の膨脹 定價四十錢 送料十二錢
島崎藤村著 藤村文集 定價六十五錢 送料八錢
片山正雄著 獨逸文法辭典 附詳解獨逸文典 定價四十錢 送料四錢
川合春充著 強い身體を造る法 定價一圓二十錢 送料十四錢
朝鮮總督府 普通文官見習雇員 試驗問題及解答 定價六十錢 送料六錢
京城南大門通二丁目 電話一四五・一一一 振替京城一五一

帝國製麻株式會社製品
東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店 村松武八商店
京城府龍山元町二丁目五十七番地 電話二六番
營業種目 麻、綿、ズック、ダック類販賣 和洋麻綿毛織物及製作品、鐵道貨車雨覆請負 天幕、雨覆製作請負、並にズック製作品一式 東洋木材防腐株式會社製
特許品(木材防腐劑) クレオソリーム クレオソート

◎英軍前進 要衝はロングヴアル及びボーム道路 [illegible] 爲せり（紐育電報）

◎部隊奉天歸還 [illegible]に於て前進中なり[illegible] 第二十八師の第一聯隊騎砲兵は奉天[illegible]

八月一日[illegible]は千二百九十萬俵と豫想され昨年度の千二百餘萬俵に比し九十萬俵の差[illegible]足割合を示せり從來の例に徵し農務局豫想に大差なきを觀ても其結果の[illegible]俵の收穫に比りしが前年度より五百萬俵の持越ありしを以て合計千四百五十萬俵を差引きて尙且つ本年度に[illegible]費總高と同一數量となり此の餘裕を生せざるに至らん本邦各紡績業者は何れも增錘を計畫し既に機械の購入[illegible]千二百萬俵以下となる如き事あらんか米棉相場の大暴騰を呈するに至るは火を睹るよりも明かなる事が棉產地[illegible]ミトリング四十九仙以上を[illegible]至れるより察し前途非常の大奔騰を現出するに至るべきか

三鞭の盃をあげて （朝鮮ホテルの京司令官留別宴）

忘れじ此の愉快なる記憶
井口軍事參議官同夫人の名殘の留別宴

鷄林十三道の鎭綏に帥として在る事未だ漸く一年半に滿たざるに茲に新に軍事參議官として東都に榮轉を命せられたる前の朝鮮駐箚軍々司令官井口省吾氏はひろ子令夫人と共に二十六日午後三時より

朝鮮ホテルに 茶會の席を設け

在京龍の外國領事文武官民並に夫人を招待す其數無慮三百餘名。劍光帽影秋日に照り蟬髮輕羅秋風に飜へり北に面せる露臺に涼を容るゝ處へ急霰の如き三弦の妙音、そは會前餘興として中券の美妓が腕を捻りたる所作京人形の始まる相圖として賓主其設けの別席に就けば一代の名匠甚五郎が妙技に精の罩もりて京人形の踊りぞ狂ふ純日本式舞踊を領事夫人等もボンネット傾げて感に入る次に添へられし吾妻八景の終る頃食堂の準備完く成りし旨通せられ一同席に就き軈て宴開かれ須臾にして軍司令官は一場の挨拶を爲す、昨年二月以來任にある事一年有半にして軍事參議官として轉任の命下り不日

京龍に告別す るに就き此間

厚誼援助を與へられたるを感謝せんとて此宴を張ると前序し語を轉じて此間至極平穩無事爲すべき事もなかりしが只在任中『昨年秋朝鮮開發史上內外朝野に忘るべからざる印象を遺せし施政五年を記念とする共進會の開かれし事と本年四月二箇師團の新設せられし事とは光榮すべき記念として記すべき事たる旨を叙べ此間公私懇情を與へられし事終世忘るべからずと感謝の意を致し『惟ふに朝鮮在任中こそは我が軍人生活中に於ける最も愉快なる時期として記憶せらるべきを語り永く懇情を續けられよと結びシヤンペンの杯を擧げて一同の健康を祝す之に對して山縣政務總監は答辭を叙べ『國家の爲め閣下の健康』を一同と共に擧杯祝賀し[illegible]くて談笑盡きず

ピアノの音樂

喨たるは將軍と令夫人の光榮を祝ぐが如く卓上設備全く整つた。

神仙臺檢疫所擴張
釜山の虎疫豫防愈々峻嚴となる

內地各地に於ける虎疫益々猖獗の爲め關釜間に於ける朝鮮玄關たる釜山港の防疫方法につきては益々嚴重となりたる事は既報の如く內地とは殆ど交通杜絕の憂ひさへあり右につき相場警部は廿三日夜行列車にて京城に急行し總監部衞生課に出頭して打合せをなし二十五日歸釜愈々大仕掛の防疫方法を以て行ふ事に決したるが從來とは一層嚴になり流行地と見做したる長崎大阪を拔錨し當港に入港の船舶上陸客に對しては拔錨地より途中各港より乘船したる旅客に對し流行地出發人と同樣に五日間の強制停留を命ずべしと故に斯の如き方法を以て今後繼續せんか神仙臺の檢疫所は漸次狹隘を告ぐるは當然の事なれば之れが建設する豫定なる由にて近日中に其工事に着手するならん（釜山）

▲檢疫と鐵道局 朝鮮鐵道局にては日本各地虎疫流行の爲め其流行地と見做したる長崎大阪方面より當港に上陸なしたる乘客に對しては出發時より起算なし五日間の強制停留を命せられたる者の鐵道乘車券は停留日數丈の期間を延期し有效とす由なり

拳銃の音
西の海語る
で喫驚した時の模樣を

滿鮮各地巡業中なりし東京大相撲西の海、大錦一行二百餘名は二十六日朝薩摩丸にて靑島より門司歸着二十四日より三日間同地にて興行の筈なるが西の海の談に曰く元來相撲は船には弱き方にて門司歸着迄に一日延着せし程の時化に逢ひ一同閉口せり滿鮮興行中は京城最も人氣好く次は大連なりき巡業中最も驚きたるは去る六日午後十時三十分長春發列車內にて肅親王の姻戚たる宗社黨の首領蒿方巖銃殺されたる椿事にて自分は當時見送人應對の爲め車外に出でたるが其の際自分の後方に當り四發の拳銃の音起りたるに驚き振返へりたるに同人は腹部を擊たれ乍ら驅け拔けて後殪れたり同人は驚てよと見る間に遣られたと叫び車內に犯はれ居りたりと聞て一行は大に狼狽したるが其の際同人の妻及び妹等は出發の游を訪ひ當時の模樣を詳しく聞き取り悲嘆の淚に搔き暮れたるは餘所の見る眼も氣の毒なりき（門司特電）

敵飛行船倫敦郊外に落つ
名を生じたり飛行船は百個の爆彈を投下し一隻の飛行船は倫敦の郊外に墜落す（倫敦）

二十五日倫敦來電公報に曰く、二十四日ツエッペリン飛行船の襲擊あり死者八名負傷者三十六名を生じたり飛行船は百個の爆彈を投下し一隻の飛行船は倫敦の郊外に墜落す（倫敦）

卷き上げた作業賞與金
出獄人を騙つた看手の脅惡露顯

仁川居住當時無職張順奎（二三）は大正三年五月六日所用ありて高陽郡に行くべく忸峴驛にて發車を待合せ中本人が曾て仁川分監に看守を奉職當時同監に服役中なりし慶尙北道慶州郡洋西面檢丹里曹允成が滿期出獄し作業賞與金十一圓を受領し歸鄕すべく同驛に來合せ分監にて知り合ひなる關係上背より兩替方の依託を受けたるを前記十圓札を橫領して行衞を晦ましゐたるが此程仁川署の手に捕はれ檢事分局に送らる

額に汗して 眞人間になれ
ぶら〱遊んでることなぞせぬ 仕事をしろ〱——京城救護會の事業

松寺檢事正を會長とし七百餘名の會員に依つて維持されて居る京城救護會は京城監獄、西大門監獄、永登浦分監等を出た內鮮人にして其身柄の引取人もないと云ふやうな人々の爲に設けられた出獄人保護事業を目的とする團體である。昨年御大典記念事業として從來の規模を擴大し高陽郡阿峴里に約三千坪の官有地を拂下げ新に收容室事務室等を設けて此程設備全く整つた。

◆出獄人保護事業は社會事業中の最も緊要なるもの

殊に朝鮮の如き土地にありては一層其必要を感ずるものがある、記者は一日其新築事務室に監督野田俊郎氏を訪へば——本會の事業も江湖の甚大なる同情に因り逐日長足の發達を遂げ救護援濟の實効も亦漸く見る可きものがある樣になつて來た幸ひ此の情勢にして繼續するものとせば本會設立の趣旨である累犯防遏の目的も漸次に其地步を進めて行けると云ふもので刑事政策上將又社會政策上貢獻する所が尠くあるまいと信じて居る、現在收容して居る出獄人は永登浦、京城、西大門の三監獄を合せ約二十名であつて其半分は外部に出て

◆總督府の道路工事或は京城府の衞生人夫に傭はれ

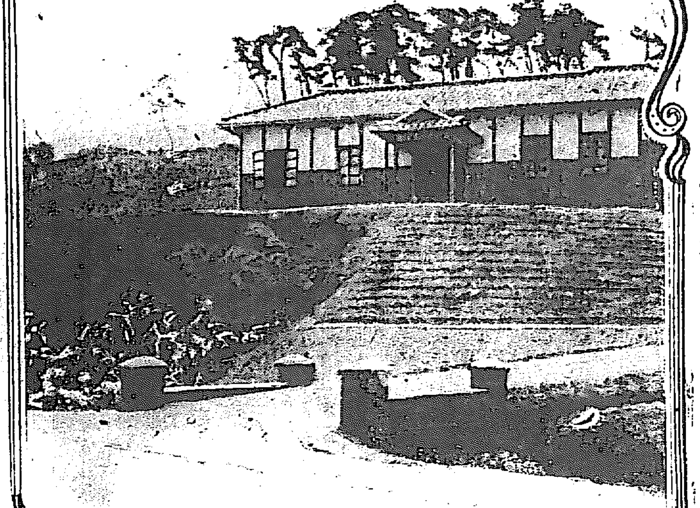
其の他の者は當救護會にあつて蔬菜類の耕作に從事して居る出獄人は其の犯罪の種類も一樣ではなく強盜、殺人、詐欺等の如く聞くさへ恐ろしいやうなものが居るが、元來彼等の天性が獰猛だと云ふのでもなければ監督者の命令には一々從順して居る寧ろ此種の重罪犯人程溫良なものが多いやうだ、救護會では內鮮人の別なく引取人のない出獄人を一時收容して一定の職業を與へ累犯者を出さない樣にしたい目的であるが目下の所內地人は一人も居ない、當會では收容者に對して只簡單な一定の規定以外には別に束縛を加へず寢食勞動時間の如きものも頗る放任主義である斯くすれば

◆逃亡の虞があらうとの點

一定した衣食住には何不自由なき上に警察の監視も救護會に收容されて居る間は寛大なため反つて逃亡する者は少ないのも妙なものである救護會では彼等が得る勞銀の內から一日約五錢五厘內外の食費を差引殘額を貯金にして後日退會の際獨立の資本に充てようとしてあるが既に在監當時から通算して七十圓位の貯金を持つた感心な者も居り二三十圓位の者は少くない救護會では此樣にして收容した者を勤勞は尊ぶ可きもので額に汗して衣食住の料を得るに非ざれば人の道にあらずと時折に觸れ感化誘導して行く內に本會との保護關係を解放しても差支ないと見れば

◆女房の世話から世帶向一切の面倒見てやつて

家庭を持たせ正業に就かせることにして居る先づ〱今日迄の所成績は佳良と云ふ方である此頃は野菜が澤山取れるものだから每日市中に賣りに出して居るが正直に値段の間違もなく賣つて來る。只困難なことは折角此方で苦心して家庭を持たせてやつたものでも會との關係を離れると又しても種々な惡友のために誘はれて失敗するものもないではないが幸ひにして再犯者を出すことの極めて少ないのは何より頼母しいことだ之が爲め改善す可き點があらうと思はれるが差當り必要を感じて居るのは娛樂設備であるが此點に就ては汎く諸先輩の救を請ひ漸次施設したいと思つて居る。


免囚收容所

◉檢疫所收容 二十五日午後入港の連絡船にて釜山に上陸したる船客中神仙臺檢疫所に收容されたるものは總數十四名にして海州檢事正氏野德太郎氏の一家族六名あり

◉麥酒景品引換期限 大日本麥酒會社京城出張所に於てなしたる第一回景品引換は本月末日限りにて以後は無効に付き景品券所持の者は此際至急就いて引換ふ可しと

◉鐵路署管內大掃除 京城鐵路署衞生課にては九月四日より同十一日迄管內の淸潔檢査を勵行すべしと

ねころんで

○二十日の朝も戸外には騷がしい風が荒れ廻つて居る何となく頭が惡いから懸賞時にはお寺詣りがよからうと[illegible]妙心寺[illegible]に行く ○和尙の[illegible]御師は相變らずまんまるく肥つて居た。寺は前に[illegible]を一眼に見晴らし後ろに深緑の[illegible]を負うて居る[illegible]である ○寺は此の十月に入佛式を擧げる、その時は和尙の友人[illegible]氏や[illegible]のヨネ野口氏がやつて來るとのはなしであつた ○ヨネ野口といへば此の程[illegible]寺住職[illegible]を送つてやつたところ[illegible]よろこんで居た、野口は[illegible]ものをする[illegible]一週間を有して居る と和尙のはなしは[illegible]——聞けば[illegible]和尙は[illegible]寺は勿論一般鮮人側からも畏敬されつゝあるが此の春は元山里の鮮人が始めて佛式の葬儀を申し込むで來た ○[illegible]朝鮮では初めての事で而も金[illegible]といふ七十一才の老人が和尙の[illegible]なうけたのだから面白い、これが爲め元山里の鮮人有志は老人に對し金二十圓の香典を贈つたといふはなしてあつた ○和尙はいふ、昨今朝鮮からも鮮學生二三人の內地留學生を送る筈ぢやが、ワシは曹洞宗大學に入學させの積りぢや、それよりも永平寺あたりで朝鮮の[illegible]生活をつうせた方が好いと思ふ ○それからこれは若衆ぢやが先日[illegible]寺の和尙が來たから朝鮮の[illegible]生活は[illegible]でよい、何うぢや山に行くが[illegible]といふと作の和尙はお前さんのやうな靈木は[illegible]要るまいといふ ○そこでお前も靈木かといふと[illegible]ワシも靈木ぢやと答へる、靈木ならなぜ山から降りて來た？といふと方便ぢやと吐かしよる、それでワシは[illegible]に方便は要らぬといふてやつたハツハツハ（つゞく）——ト生

◉妙心寺の提唱 妙心寺にては二十七日午前九時より無門關の提唱ある由

◉井口前軍司令官留別宴の席の事である▲主人の挨拶終るや否や野田大塊、森安崖城の兩宗匠前後から記者の袂を捉へて『鉛筆な〱』句が出來たのだ、と云ふ。曰く

明星殊に加ふ光や秋の宵 大塊
去來雖大南山に秋立ちぬ 崖城

▲記者は是非茲に屑を揃へさせる爲めと秘にボーイを使ひして林一象宗匠に挑めば名刺の裏に萬年筆の走り書きで

杯を擧げて天の高きを仰ぎけり 一象

とある▲此三句を爲して先づ露臺を徘徊する古海船蹟將軍を襲ひ何がなと強要する處が將軍の城砦は仲々陷らぬ止むなく鋒を轉じようと四邊を物色すれば好敵——白水孤峰將軍は直に鉛筆を呵して

將軍臺上練兵橫。漢水橋邊月影淸。征馬明朝東海道、莫忘十萬健兒情、

『十萬の健兒と云ふのは朝鮮二個師團の將卒だ——エーと其れから』と更に鉛筆を嘗つて

入螢帷幄機『出作六軍師、立馬金剛上、雄風天下馳。

▲傍に井口將軍莞爾として諸氏の厚意を謝し井出台水將軍から贈つて來たと云つて

秋晴れを橫綱江戶に召されけり

『橫綱にした處はチト上げ過ぎたネ』と語り『我輩はどうも速吟が出來ないので困るなア』と仲々記者を寄せつけぬ勢ひの强よさに辭して去らんとする時▲倏忽袂を控へて『やれさうだなゝ』と笑ひ乍ら

送別の熱誠罩る暑さ哉

は怎だ』とある。乞ふ好將軍の行方に榮あれ！

金牌受領 本橋香油 髮を黑く長くつやを出しさら〱として髮の病氣を防ぐ事妙

京日案內

普通一回前金[illegible] 三十錢 番外六十錢[illegible] ▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◉萬能の靈藥ウニフエルジン注射卅錢（本紙廿九日夕刊參照）入院卅五錢 赤門通七七 電二八四四 高木獸病院 118

◉讓店 日用品雜貨菓子店居拔の儘至急讓渡し 櫻井町日拔の場目下盛に營業中（姓名在社）

▲義太夫稽古本は何んでも揃ます 本町二 電二一五二 ウツボヤ書店 75

◉貸金 月收の御方へ信用秘密融通 御照付上候 京城大和町三（不老泉前横丁下る）花木屋 124

◉馬山浦所在宅地四千坪並洋風建物安價にて賣りたし（姓名仁川支局）125

◉菓子商等職人一名及び十五六歲員一名雇入れたし至急申込まれ 淸州田中松月堂電話三七番 89

◉知入得業士三十五歲內外科經驗醫師有市內地方病醫院又は開業を望む通知次第略歷送る（姓名在社）116

◉古本熱心高價買入 △御報參上 ◉是非御試買を乞ふ △本町四 電話二七八一番 △書肆群書堂 111

◉有給社員募集年齡廿五歲以上履歷書携帶本人來談あれ保證人要 シンガーミシン會社龍山分店 119

▼周易觀相…見料隨意…試みに評せられよ必ず中る法蝶てなし永樂町一ノ九商品陳列館道坂中途 彭陵庵 123

▼新羅史▲特價一圓五十錢 代理店 京城本町 ウツボヤ書籍店 81

◉店員十三四歲より十六七歲位の者四名雇入たし希望の方は本人來談あれ 京城本町一 北內商店 104

◉看護婦募集 派遣多忙に付き至急入會ありたし 南山町一電一四四一 中央看護婦會 105

◉萬年筆の修繕は如何なる部分も極めて廉價に即時修繕す定價無代迄付 京城旭町二ノ六 パイン萬年筆出張所 569

◉松汀里光州間自働車は太田木浦間の列車に聯絡す▲光州加藤自働車運輸部

番外

掛物職人一名 至急入用 雜貨子專門職一名 平壤南門町製藥御商井上日韓堂 107

石油發動機 八馬力、獨逸製點火式籾摺機十臺分、アイデル、精米摩擦機二臺一ケ年間使用現在使用のもの用法簡易至急安價讓渡たし姓名在社 126

下宿讓渡 都合に依り內地歸省に付其儘讓渡致度御望の方は至急御越被下度 安價相談仕候 南山町三丁目 電話二一六番 四國屋旅館 128

セトモノを買なら 本町二丁目㊤賣場 一錢より十錢迄なんでも揃ます 127

店員入用 年齡十四五歲より二十五六歲迄の者至急入用希望者は本人來談あれ但し市內に確實なる保證人を要す 京城旭町市場 海產物問屋 吉川商店 115

▲醫師一名至急招聘 委細面談 專用電話二七 京城本町一丁目 三九三 石川醫院 114

外務員入用 給料手當步合 委細面談 京城元町二ノ二〇愛國生命保險會社出張所 便宜京城旭町一ノ一二八 橫尾方事務取扱 120

手輕く遊べる遊川舟屋形 一人の舟賃卅錢五人乘以上百人乘迄數隻を備へ御用達 龍山電車終點 電五二八 貸舟共樂社 122

◉吳服物一部 陶器物一部 世帶道具商 京城バザー賣店 明店あり 御希望の御方は 電話八一三へ 112

◉京城春川間行自働車 貸金片道四圓 ◉京城春川間每日午前八時出發 南大門通一丁目 廣橋自働車 主務 金正 ◉電話二一九番

內科 小兒科 婦人科 花柳科 筑紫醫院 京城櫻井町二丁目 大正館南手 ツクシ

鑛山經營 京城鍾路二ノ九 重石買入 金石商會 電話一八九九 ▲鑛物分拆並に鑛山調査製圖

魔法瓶中瓶取替 ゴム引マント 防水インバ 其他色々 京城本町一丁目 高木旅行用具

▲遞信省認可◉消毒大藏 電話口消毒器 ▲實用新案特許品◉各地特約店募集す 京城黃金町三丁目 巳商行

鑛物定量分拆 京城府太平通（朝鮮公論社左小路）電話一三四四番 坂元分拆所

內科小兒科外科花柳病 吉野町 院主 松岡粟太郎 松岡醫院 入院隨意（吉野町自働電話の上）

見テモ聞イテモ 凉シイ布引 アニンカデンプン入りの新式てんかふんデス 本町一 荒木藥[illegible]

嘉會洞二一四番地に官吏向貸家あり元別邸用として新築せられしものにして二階建和洋室九間水道電燈風呂等の設備あり希望の方は本社に就き問合あるべし（姓名在社）110

工事請負入札公告 一、京城木浦間道路改修工事 右請負ニ付ス詳細ハ本道ニ就キ承合スベシ 大正五年八月二十六日 全羅北道

▲簿記生徒募集 卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す規則書要二錢 京城明治町一丁目 京城簿記專修[illegible]

新刊書御案內

書名	著者	定價
◉朝鮮產業指針	大橋、川崎、三輪	三〇〇
◉改訂增補實踐工場管理	神田孝一	一三〇
◉最新機關學講義	片山滿吉	二七〇
◉化學工業用機械	佐藤榮吉	二〇〇
◉實驗化學工業品製法	吉村誠治	一五〇
◉改訂增補英和工學辭典	八大博士	二二〇
◉續原子論	永野敬之丞	三〇〇
◉西洋文藝叢書陷落	前田晃譯	一二〇
◉吉田松陰	碧瑠璃園	一五〇
◉健康讀本全	緒方右近	八〇
◉實用ペン習字帖	黑柳勳	一二〇
◉日本一周後編	田山花袋	一三〇
◉漢文綱要	古川喜九郎	一七〇
◉長唄集	海賀變哲	五〇
◉日露戰役海底地獄	江見水蔭	八〇
◉星の歌舞伎	泉鏡花	九〇
◉日本偉人松雲公御夜話	[illegible]	一〇〇
◉將棋一手千盤	高林德次郎	二三〇
◉新撰ペン習字帖	蜷川香松	三五
◉受驗必携朝鮮行政法規大意	大寺安純	四〇
◉國語文法布石攻合法	中川[illegible]三郎	一二〇
◉園芸護摩戰法	瀬越憲作	六〇〇
◉世間學	浪六	九〇
◉戀、愛、情	德田、三島、田口	三五

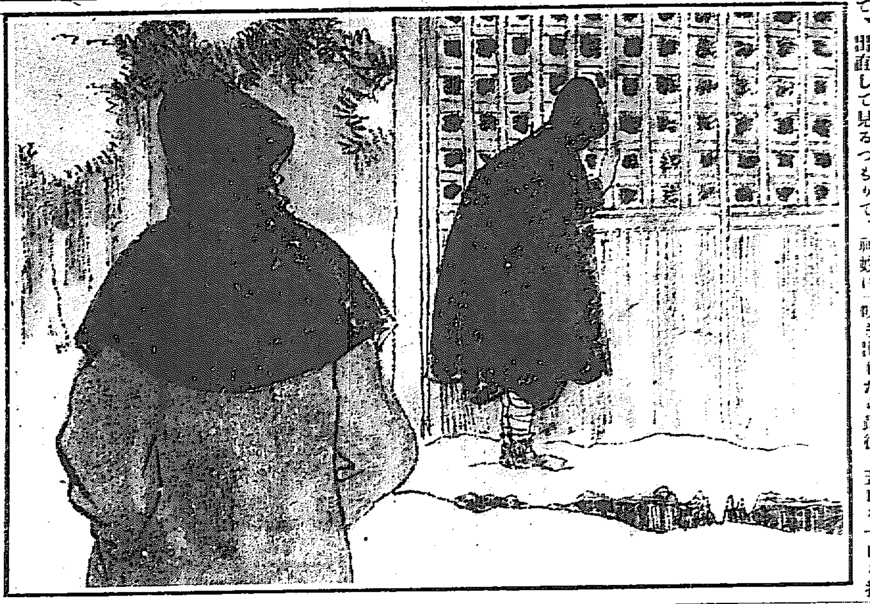
大阪屋號書店 京城本町 電話二六〇八 振替京城三五五

女鳩

渡邊默禪

『八七』乾殺しに

生駒は悧れたやうな顔をして
『甦いた奴だな、まるで樺太の山猫だ』。
『猫？ヘン、この猫は紙幣を食ふからお氣の毒さまでね』。
『その紙幣は誰が食はして置くんだ。腹一杯食ひたけりや、もつと爪を磨いで手際よくやればいゝ』。
『だから最う一度親猫の差圖をうけて、出直して見るつもりで、神妙にゴロニヤンといつて來たんでさア。なんぼ何だつて、あんな小鼠一疋とりそこなつて、この儘尻尾を卷いた日にやあ、猫屬同類に顏向けができやしませんからね』。
『俑うだとも、此處で凹たれちやあ先祖惡源太の面汚しだ』。
『どうしたもんでしやう、旦那。宜しいやうに差金をしてお臭んなせね』。
『さア』。
生駒は叉んだ腕を胸の上まであげて考へてゐた。源太は吹雪にかくれた龍が嶽の上を仰見げながら
『旦那。親仁や子僧はどう／＼上つちめねやしたかね』。
『む、上つた。先に出かけた手們がちやうど二十何人。今頃は頂上あたりで大露擦きに苦しんでゐる時間だらうよ』愉快らしい微笑が霜のやうに凍つた頬にゆらぐ。



『この吹雪ぢやあ堪らねえなア。みんな凍れて死つちめわあ、手數が懸らなくつて結構だが……』。
『いや、凍れ死をしないまでも餓死をするかも知れないよ』。
『何故ね』。
『どうだ、汝の見込ぢやあ……この吹雪はいつ止むと思ふ』。
『さ、長いね。乾と長いやこりや。吹き出したら最後、五日や十日も打徹しに荒れるのが此の山の癖なんだから、先づ一週間どこは大丈夫と見ていゝね』。
『それ、それだッ！』忽に調子を高くした聲に滿足らしい響があつた。
『一週間でなくてもいゝ。三日だけ續いてくれゝばもう豐年だ。ハツハツハ』。
『どうしてね』解せない貌。
『食ふ物がない、食ふ物が……まさか獵銃や火藥は飯の代りにはなるまいからなア、ヘツヘツヘ』。
『へゝー』源太は妙な目色で生駒を見た『ぢやあ食料は？』。
『俺ンとこに在るのさ。この吹雪ぢやあ誰がどんなことを爲たつて登れることぢやないから、後でどのやうにも言譯が立つ。なア、俑うして三日も素抛かしとけば、大抵の奴は干鱈のやうになつちまう。汝の親仁や村の者は體が頑丈だから、まさか三日や五日でまゐつちまう樣なことはあるまいが、先づ野頭にころりといくのが比較的一番弱いあの鳩子さ。それから子僧よ、大抵順序が定つてらアな』。
源太は更に凝然と生駒を見詰めて
『へゝー』。
『何がへゝだ』。
『惡强だなア。餘程上手だい、こりや、私なんか追着かねえや』。
さしもの源太もその惨忍さ加減に舌を捲いたらしかつた。
『なア、俑うして親子とも殺了けてしまへば、一遍で段落がつくし、跡の面倒がなくつていゝだらう』。
『お前さんの方はそれで可いだらうが、詰らねえ殉死をさせられて村の者が可哀想だ』。
『可哀想だなんていふ柄かい。人が聞いたら笑うだらうぜ。必要の前には何物も犧牲にするさ』。
『さ、私は用なしかね』。
『いや、まだ相談がある。それが失敗した場合には、是非汝を煩はさなければならんが……ねゝと、彼堂に居る奴們は汝の顏を知つてるだらうなア』。
『なアに、家を飛出してから餘程年をくつてるし、相貌も姿もまるつきり變つてるから、氣がつきやしめねと思つてるが、どんな手們だかちよつと覗かせてお臭んなせね』。
『む、羽目から覗いて見ろ。差閊がなかつたら入るがいゝ』。
源太は直と堂に立寄つて、狐格子の穴から中を覗いて見た。

明治町フランス教會右トナリ　岡村介石

▲新古書籍販賣　▲古本高價買受　●京城本町一　雜誌廻讀會　日韓松井松榮堂書店　●電一三七八

回清涼里散策　夏畦

□蕣そびゆる空の秋晴れ
□秋客し河床に草を干す
□草いきれ分けて女郎花折る
□薄穗に出でず苔の山路なり
□白萩咲く松蔭にいこふ
□秋の陽洩らぬ程の松木立

新刊紹介

▲眞宗大聖典　文學博士南條文雄、前田慧雲兩氏監修の下に東洋大學講師安藤正純氏編述する所各派法主の筆跡親鸞、法然、蓮如各聖人上人の肖像高本派本願寺、大谷兩派の法主及び其方の寫眞、寺院、遺地、遺跡等の寫眞數十を以て卷頭を飾り本文は之を上中下三卷とし上卷に於ては佛教の大意を簡敍し眞宗の教義より大祖、宗祖、中興上人の傳を略述し以て同宗教に關する一般智識を習得するに努め中卷は之を法話聚珠と儀式典故其他諸般の眞宗信徒として心得べき事項を表示し猶卷尾に『親鸞聖人御遺跡記』を附したり下卷は淨土三部經、宗祖聖人の三帖及び帖和讃、蓮如上人の五帖一部及び帖外の御文等を始めとして凡眞宗信徒に最も重要なる聖典を網羅し猶三部經には延書を添へ和讃には節を附したる等用意周到なる、之れを要するに眞宗の教義歷史及び各國の事跡等を甚しく平易を旨として通俗に記述せるを以て同信徒には無二の聖典たると共に又一般人士が眞宗の一斑を知悉するに最良の書たるを信ず（和裝本四六二倍八百七十頁非賣品東京市麴町區有樂町一の四日本佛教協會）

▲金星（八月號）本號には貨幣制度改革私見、日鮮貿易の根本發展策、緬西亞の經濟界、海運銀行設立急務等經濟上必讀文字を收む（十九錢東京市麴町區有樂町共社）

▲現代の科學（八月號）論說欄の太陽に關する極近の見解、除害欄の電細菌に就て、天文欄の太陽自轉速度の變化地學欄の岩質による緯度測定法其他總て科學界に於ける最新の學說を發表せる好誌（二十八錢東京府下澁谷二一五一戸直誌）

讀者の聲

▲旭町一丁目の總督府官舍の處から南米倉町へ出るダラ／＼こした坂路の中央は先達の雨の爲崩んで車の通行は非常に危險だ坂道だから殊に危ない早く修繕を當局者に希望す但し彼の臭い泥土だけは御免を蒙りたい（官吏會社員總代）▲某商會の旭町の賣地所は家丈け賣拂つたが周圍の石垣の石迄取つたので土が溝に落ち込んで溝が埋つて道に水が流れるので近所の者が困つて居ります（近所困る生一同）▲近時各所に子供相撲が流行して居るが併し觀客に紛れて掏摸が居る昨夜二三人取られた注意して見たらしかも日本人で色黑の小男であつた諸君大に注意したまへ（取られた一人）▲京城の浴料過高問題は今や何人も否定することの出來ぬ輿論であつて當業者側でも一部の人士は大勢の抗すべからざるを看破しまだ公然値下げの發表は爲さゞるも既に其二三は私かに浴料を減額し札十枚を二十五錢にて內々賣るものも尠くないのである是偏に浴料に關する熱心なる本欄投書家の功にして又賢明なる一部の當業者諸君の先見に因るものたるは言を俟たぬ次第である願くば此際一般當業者諸君も一層發奮の上速かに組合規約を改め公然之を宣言し以て闔諸に双方の便益を謀られんことを希望す（浴客の一人）▲京城にて販賣する白米は內地の其れと違つて眼やに其色白きに過ぐ否白色を通り越して寧ろ青く悽みを帶び居れり同じ白米にして何故如斯相違あるかを研究するに前者は春く際餘り磨き砂を入れず後者は春くに當り多量の磨砂を混入するが故に白米として賣捌くに當りても其砂が多量に米粒に殘存粘著するに依るものたるを發見せり而して此砂が果して人身に害あるや否やは猶研究の餘地あるものとするも假りに之を衞生上人體に害あるものとせば輕々に默過すべからざる重大問題である因て是は過日來數々本欄に登載せられたる米の量目に關する途上檢査問題と併せて至急其筋の研究を希望に堪へず（米食人）

商況

大阪期米

下關期米特電

▲二十六日後場（單位圓ヲ略す）

京役後場五圓七十錢　大阪前止十五圓四十八錢後寄三十九錢と安大施にて當地當二節に至り十二圓八十錢中四十三圓先十三圓四十錢と十一錢安に寄付一錢と持合ふ投げに新規賣物二十五錢と元錢…

▲言大に賣る　四千餘石に上りたりとの事…

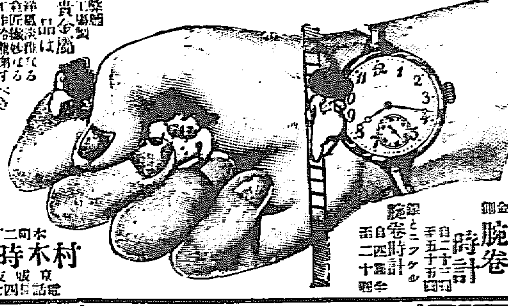
▲今大に買ふ　後場は…

學生

九月一日發行　新學期號　郵税共二十二錢　三冊六十四錢五厘

決死の青年使者（河野農相）　奈翁の機智（在作博士）　英文覺上人（片山教授）
●夜濠茶苑の觀察實驗…川口藝文郎　●歐洲入口增加率（輸入統計）…大須博士　●朝鮮觀察…
外入旅行失敗談（早大講師フツクス）　今秋野球界の覇者（春野福井）　辨當哲學（博士佐伯）
山死の青年を弔ふ
加奈陀貿易の明星（成功談海外）　誤解されたる專門教育（遠藤博士）　一高首席入學者（英）評論
●新學期の門出…澁澤榮太郎　●三十年前の友…桂月　●トム爺の部屋…　●三千年前（科學小説）水蔭
日本一の端艇（樋口綠波）　月と露と蟲（宮島博士）　學生英字新聞
主筆大町桂月　試驗（國）（英）　一高入學
富山房　東京神田　振替一〇五

▲產婦人科
本院　京城旭町一丁目　電話二三四〇番　診察午後
分院　龍山漢江通（柳町）　電話一〇六番　診察午前
中央婦人病院　院主　衣笠茂



金側腕卷時計　自二十二圓五十錢　至五十五圓
銀とニッケル腕卷時計　自二圓四十錢　至二十圓
貴金屬　精巧品は雅致と流行とを加味し…
何れも上等品…御要求を滿して遺憾なき…
京城本町二丁目　村木時計舖　京城支店　電話七四一番

水銀　新著　保税品有
京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五・二七四　振替京城二五六

富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵稅二錢　京城日報社代理部　振替三〇〇番

精確なる顯微鏡及マグネット各
三浦天龍堂眼鏡部　京城本町二　電話一〇〇二　振替三〇四

醇良清酒
大阪府堺市　釀造發賣元　肥塚源次郎
京城本町二丁目　特約販賣店　佐藤牧太郎
同本町三丁目　特約販賣店　明治屋支店

最高滋養
フェロールは美味營養共に夏の滋養に適す
▲弱き人に力を附け▼
めき／＼強壯になる美味滋養料
▲婦人小供藥嫌に適當▼
●試用　●中瓶　●大瓶
◎貴劑は各藥店に
本舖　大阪　小西久兵衛

營業目錄
鑵詰　乾物　海產物　雜穀　洗濯石鹼
漆器　家具　文具、紙　綿、農具　レヨベル　金物
陶器　磁器　簾　芦屏風　花莚
荒物　履物　澤庵、茶　昆布　鰹節　酒、石油
乳母車　雨傘　管笥　碁盤　蠅取紙
仁川新町　津田兄弟屋本店
仁川宮町　津田兄弟屋支店
京城本町　津田兄弟屋支店
電話七六二番　振替口座京城三八九番

イケダ小兒病內科醫院　池田季雄
京城三越吳服店前（入る旭町四丁目　電話（醫院一三四番　自宅八八〇番）

◎眼鏡新荷著廣告
正金張三種　獨乙　甲一圓五十錢　乙二圓　丙二圓五十錢
米國製　純ニッケル一種　凹凸玉サック付　一圓二十錢
●地方より御註文の節は直ちに代金引替にて御送附申上候　但し前金に限り送費無料
京城本町一丁目（郵便局前）　中村時計店眼鏡部　電話二一七番　振替口座京城三四六番

大日本優等清酒　ハクツル
品質純良　衞生無害
釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社
發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　振替貯金口座京城三三二番
電話（一三三一、三三二、六一、一二六〇、一六一三）
支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

日本郵船仁川出帆
○大連、天津、牛莊行
相模丸　九月七日　正午出帆
高砂丸　九月十七日　正午出帆
三河丸　九月廿七日　正午出帆
仁川海岸通　郵船出張所　電話五十九番

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
君が代丸　九月二日後四時出帆
大有丸　九月七日後四時出帆
神代丸　八月三十日後四時出帆
秀吉丸　八月廿八日後四時出帆
仁川海岸通　西杉回漕部

朝鮮郵船仁川出帆
金剛丸　八月三十日
京城丸　九月九日
黃海丸　八月廿四日
咸鏡丸　九月三日
京畿丸　八月廿九日
三河丸　八月廿九日
永興丸　每月廿八日　元山發
江陵丸　每日
平安丸　九月一日
慶興丸　九月一日　木浦發
宗信丸　八月廿九日
江原丸　九月五日
錦江丸　每日午前
南陽丸　每日午前
仁川發

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
須磨丸　九月　日　後五時出
安東丸　九月四日
天智丸　八月廿九日
濟州丸　九月十日　後二時出（鎭南浦、龍巖浦、安東縣行）
信濃川丸　八月廿七日　後二時出（木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行）
木浦丸　九月十四日
須磨丸　八月廿八日　後二時出
信濃川丸　九月九日（鎭南浦、大連行）
南浦丸　九月廿七日　後二時出
大智丸　八月三十日　後二時出（關門、神戶、大阪行）
日本丸　大連直行　八月　日　正午出帆
福州丸　群山、釜山、橫濱行　八月　日　後二時出
安平丸　清津、浦潮行（元山出帆）九月十六日　後二時出
宮島丸　九月二日
城津丸　上海、芝罘、打狗行（大連出帆）九月十二日　後四時出
湖北丸　九月十二日　前六時出
御注意　切符發賣所　京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行　月　日後五時出帆
元山、清津、浦潮行　月　日後十時出帆
元山、城津、清津行　月　日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　月　日後六時出帆
第三宇品丸　門司、神戶、大阪行　月　日後六時出帆
第三翠平丸　嚴原、壹岐、博多行　月　日
天眞丸　每月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港通本船取扱店　大池回漕部

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車部　大邱出張所　電話二一七番

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
第一共同丸　八月三十日後二時出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡運輸取扱仕候
○城津、清津、浦潮行（元山出帆）
第一阪鶴丸　九月二日前十一時出
第三共同丸　元山出帆
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

寫眞　京城日報社寫眞製版部

◉財に咬殺さる　慶北軍威郡軍威面…八日棚梆智方に於て廿四日…